

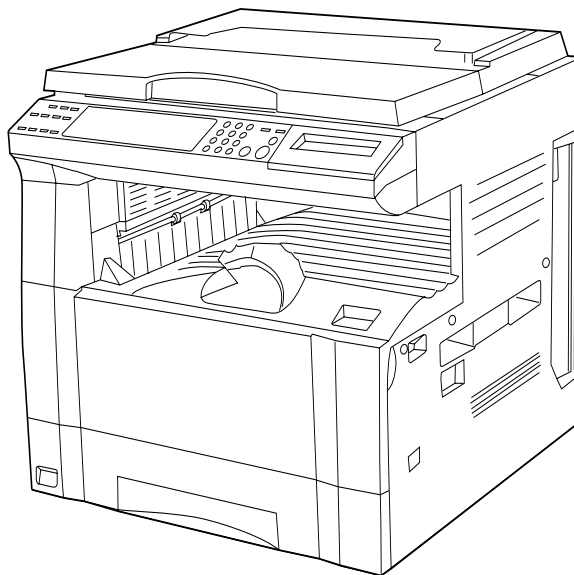


KM-1530

静電複写機

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管
してください。



京セラ ミタ株式会社



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタープログラムの基準により、複写機では、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源オフになる「オフモード」を備えていることが必要です。また複写機にプリンタやファクス機能がある場合は、最後に機器を使用してから一定時間経過するとプリンタおよびファクスが待機状態のまま自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないとプリンタおよびファクスが待機状態のまま消費電力を最小にする「スリープモード」を備えていることが必要です。

本製品は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合するために、以下の仕様を備えております。

- 「低電力モード」
最後にご使用になってから 15 分を経過しますと自動的に「低電力モード」に移行します。
なお「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「予熱（プレヒート）機能」をご覧ください。
- 「オフモード」
最後にご使用になってから 30 分を経過しますと自動的に「オフモード」に移行します。
なお「オフモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「オートシャットオフ機能」をご覧ください。
- 「スリープモード」（複写機にプリンタおよびファクス機能がある場合）
最後にご使用になってから 30 分を経過しますと自動的に「スリープモード」に移行します。
なお「スリープモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「オートシャットオフ機能」をご覧ください。
- 再生紙
エネルギースタープログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。



財団法人日本環境協会 エコマーク事務局認定
エコマーク商品 認定番号 01117007 号
「製造」「使用」「廃棄」の段階で環境のためにより良い商品です。



本製品は、「グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進に関する法律）」の定める「特定調達物品」の判断基準に適合する環境に配慮した製品です。

【注意】本使用説明書で使用されているイラストはオプションカセットが 1 段設置されたものを使用しています。

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。
オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
シートスルー ADF STDF-3	ADF（原稿送り装置） または DF
積木カセット ST-12	カセット
ジョブセパレータ J-1302	ジョブセパレータ
キーカウンタ	キーカウンタ
キーカード 1	キーカード
ビットマップ用メモリ MB-5	メモリボード
プリンタキット Printing System (K)	プリンタキット



KM-1530 をご購入いただきまして 誠にありがとうございます。

この使用説明書は、複写機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」、



「感電注意」、



「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」、



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」、



「電源プラグをコンセントから抜け」、



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

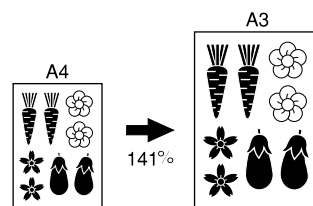
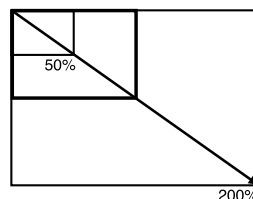
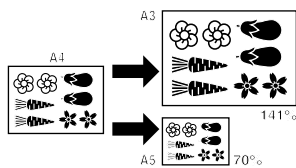
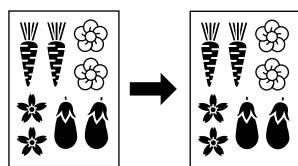
目 次

1 章	はじめにお読みください	1-1
1.	⚠ 注意ラベルについて	1-1
2.	⚠ 機械を設置する時のご注意	1-2
3.	⚠ 取り扱い上のご注意	1-3
4.	コピー禁止事項	1-4
2 章	各部の名称	2-1
(1)	機械本体	2-1
(2)	操作パネル	2-3
3 章	ご使用の前に	3-1
1.	用紙の補給	3-1
(1)	用紙補給時の注意	3-1
(2)	カセットへの補給	3-1
(3)	手差しへの補給	3-2
2.	トナーカートリッジと トナー回収タンクの交換	3-5
4 章	基本的なコピー	4-1
1.	基本的なコピーのしかた	4-1
2.	コピーの縮小／拡大	4-3
(1)	自動倍率選択モード	4-3
(2)	ズームコピー	4-3
(3)	定型変倍コピー	4-4
3.	割り込みコピー	4-5
4.	予熱（プレヒート）機能	4-6
5.	オートシャットオフ機能	4-6
5 章	機能的なコピー	5-1
1.	マージンコピー	5-1
2.	枠消し	5-2
(1)	シート枠消し	5-2
(2)	ブック枠消し	5-2
3.	集約コピー	5-4
●	2 in 1	5-4
●	4 in 1	5-4
4.	ソートコピー	5-6
5.	回転コピー	5-6

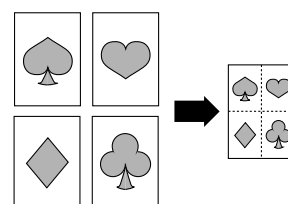
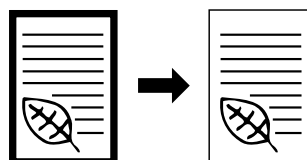
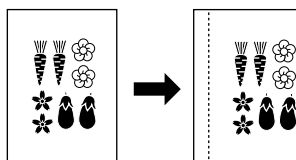
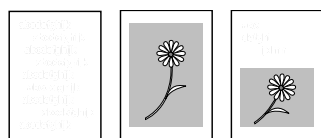
6 章	複写機の管理モード	6-1
1.	部門管理	6-1
(1)	部門管理のモード	6-1
(2)	部門管理の設定方法	6-2
(3)	部門管理時のコピー	6-3
2.	初期設定	6-4
(1)	初期設定の項目	6-4
(2)	初期設定の設定方法	6-8
7 章	オプション	7-1
(1)	ADF（原稿送り装置）	7-1
①	DF にセットできる原稿	7-1
②	DF の使用上の注意	7-1
③	DF の各部の名称	7-1
④	DF への原稿のセット	7-1
⑤	オートセレクションモード	7-2
⑥	コンタクトガラスへの原稿のセット	7-2
(2)	カセット	7-3
(3)	ジョブセパレータ	7-3
(4)	キーカウンタ	7-3
(5)	キーカード	7-4
(6)	メモリボード	7-4
(7)	プリンタキット	7-4
(8)	プリンタネットワークキット	7-4
8 章	こんなときには	8-1
1.	こんな表示がでたら	8-1
2.	紙詰りが発生したら	8-3
(1)	紙詰り位置表示	8-3
(2)	注意事項	8-3
(3)	処理方法	8-3
3.	トラブルが発生した場合	8-7
9 章	保守・運用のために	9-1
1.	機械の清掃のしかた	9-1
2.	消耗品	9-2
3.	製品の保守サービスについて	9-3
4.	保守サービス契約書について	9-3
5.	補修用性能部品について	9-3
6.	廃棄について	9-3
7.	仕様	9-4
	索引	9-5

●本機の高機能を存分にご活用ください

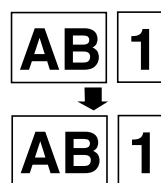
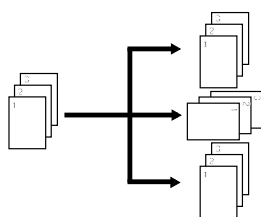
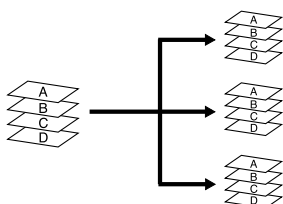
- 1** 原稿と同じサイズ用の紙を機械が自動的に選択
〈自動用紙選択モード〉
(P 4-1 参照)
- 2** 多彩な変倍方法
■指定したカセットサイズに縮小／拡大〈自動倍率選択モード〉(P 4-3 参照)
- 50～200%の範囲で縮小／拡大〈ズームコピーモード〉
(P 4-3 参照)
- サイズを指定して倍率を指定〈定型変倍モード〉
(P 4-4 参照)



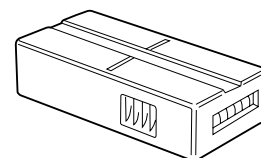
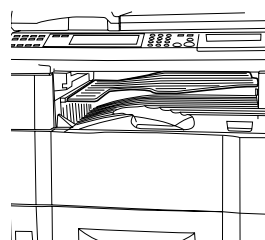
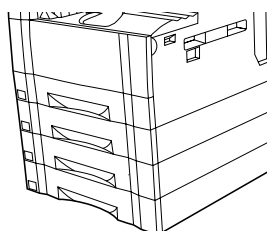
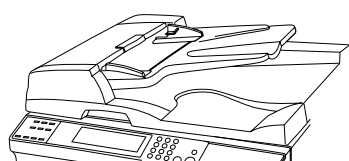
- 3** 写真原稿もきれいにコピー
〈画質選択〉(P 4-2 参照)
- 4** コピーにとじ代を作る
〈マージンコピー〉
(P 5-1 参照)
※オプションのメモリーボード装着時
- 5** 原稿のまわりを消去してコピー
〈枠消し〉(P 5-2 参照)
※オプションのメモリーボード装着時
- 6** 2枚または4枚の原稿を1枚に
〈集約コピー〉(P 5-4 参照)
※オプションのメモリーボード装着時



- 7** 自動で仕分けを行う
〈ソートコピー〉(P 5-6 参照)
※オプションのメモリーボード装着時
- 8** 用紙の向きを変えて仕分けをしやすく
〈回転ソートコピー〉
(P 5-6 参照)
※オプションのメモリーボード装着時
- 9** サイズの異なる原稿を一緒にコピー
〈オートセクション〉
(P 7-2 参照)
※オプションの ADF 装着時
- 10** 部門コードでコピー管理
〈部門管理〉(P 6-1 参照)

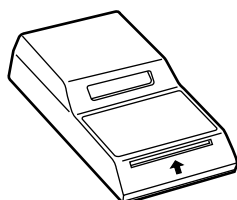


- 11** オプションも充実
■ADF (原稿送り装置)
(P 7-1 参照)
- カセット (P 7-3 参照)
- ジョブセパレータ (P 7-3 参照)
- キーカウンタ (P 7-3 参照)



■キーカード (P 7-4 参照)

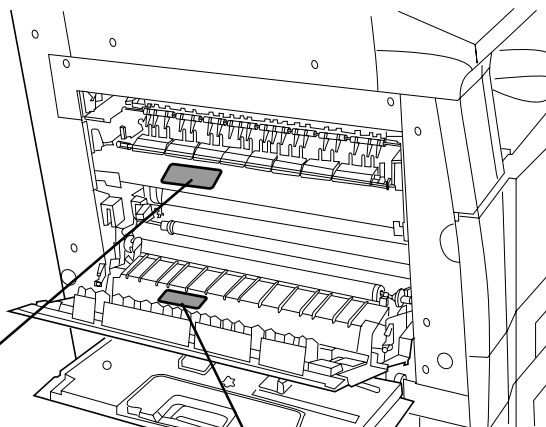
■メモリーボード (P 7-4 参照)
■プリンタキット (P 7-4 参照)
■プリンタネットワークキット
(P 7-4 参照)



1 章 はじめにお読みください

1. 注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙詰まり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。



ラベル2

この部分の内側は高温になっています。
火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。.....



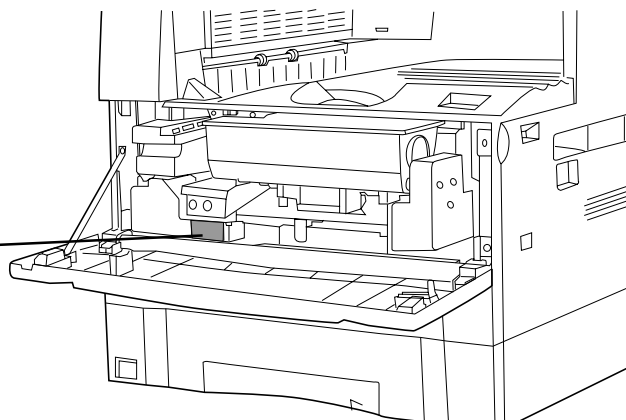
ラベル1

この部分には高電圧が発生しています。
感電事故を防ぐため、絶対に触れないようにしてください。.....



ラベル3

トナーまたはトナーの入った容器を火中に
投じないでください。火花が飛び散り、
やけどの原因となることがあります。.....



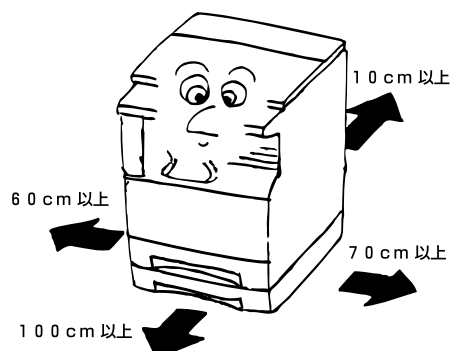
〈お願い〉 これらのラベルははがさないようにしてください。

2. ⚠ 機械を設置するときの注意

■設置環境について

⚠ 注意

- 本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。.....
- 本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。.....
- 本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。.....
- 本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械左側と後ろ側には通気口があり、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。.....



その他の注意事項

- 本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 20℃、湿度 65%RH が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。
 - ・窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
 - ・振動の多い場所
 - ・急激に温度や湿度が変化する場所
 - ・冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
 - ・通気性、換気性の悪い場所
- 複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

■設置電源・アースについて

⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。.....
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。.....
- 必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。.....

その他の注意事項

- 電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

■ビニールの取り扱いについて

⚠ 警告

- 本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。.....

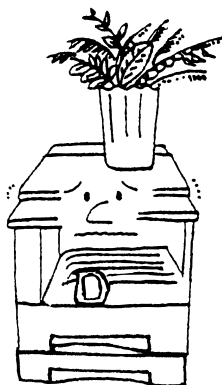


3. 取り扱い上のご注意

■機械の取り扱いについて

警告

- 本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。.....



- 本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。.....
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。.....
- 本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザー光線への被爆のおそれがあります。レーザー光洩れによる失明のおそれがあります。.....
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。.....
- 万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。.....
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。.....
- 内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。.....



注意

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）.....
- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。.....
- 夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。.....
- 本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。.....
- 本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。..
- 本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。.....



その他の注意事項

- 本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。
- コピー中には次のことをしないでください。
 - ・前カバーを開ける。
 - ・メインスイッチを切る。
 - ・電源コードを抜く。
- 転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。
- コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。
- この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

■消耗品の取り扱いについて

! 注意

- トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。.....
- トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。.....
- トナーコンテナおよびトナー回収タンクより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。.....
 - ・トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所へ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るのであれば医師の診察を受けてください。
 - ・トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - ・眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
 - ・皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。
- トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。.....



その他の注意事項

- 使用後、不要となりましたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。
- 消耗品は冷暗所に保管ください。
- 本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットまたはデッキから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

4. コピー禁止事項

複写機を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

1. 法律で禁止されているものには

- ①紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。
例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ②外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

2. 注意を要するものには

- ①民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

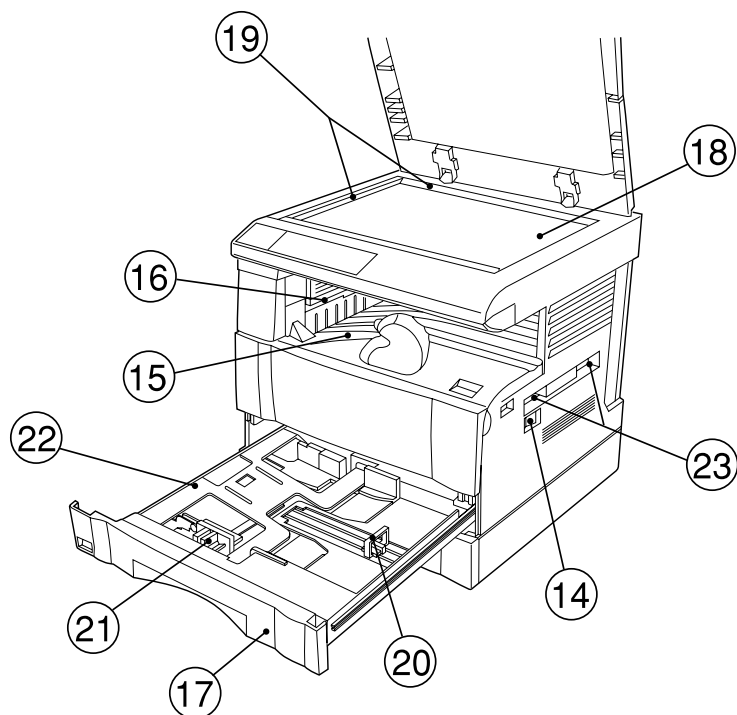
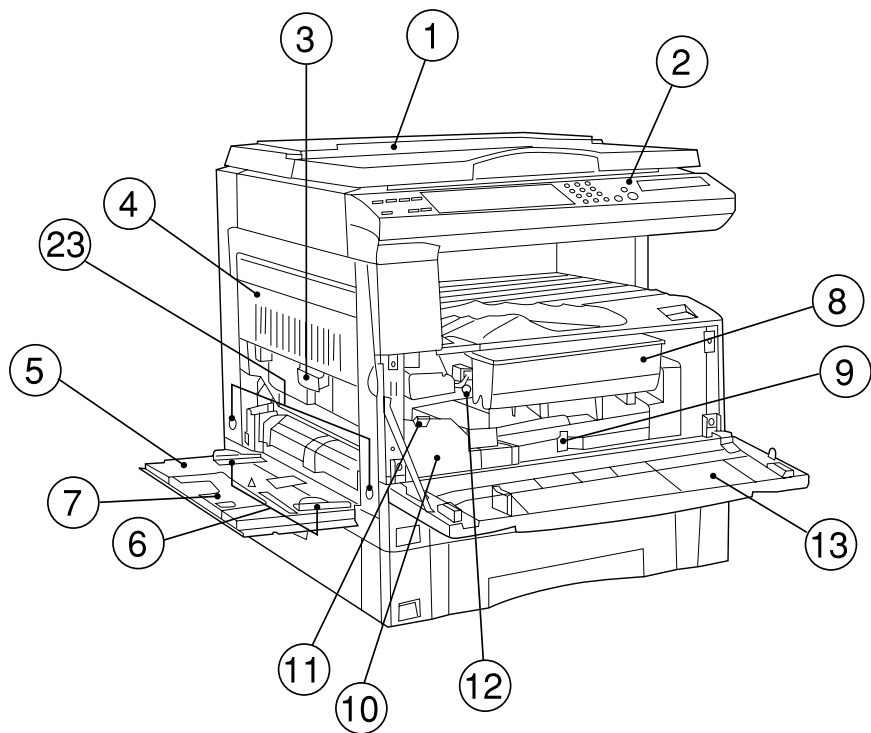
3. 著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。



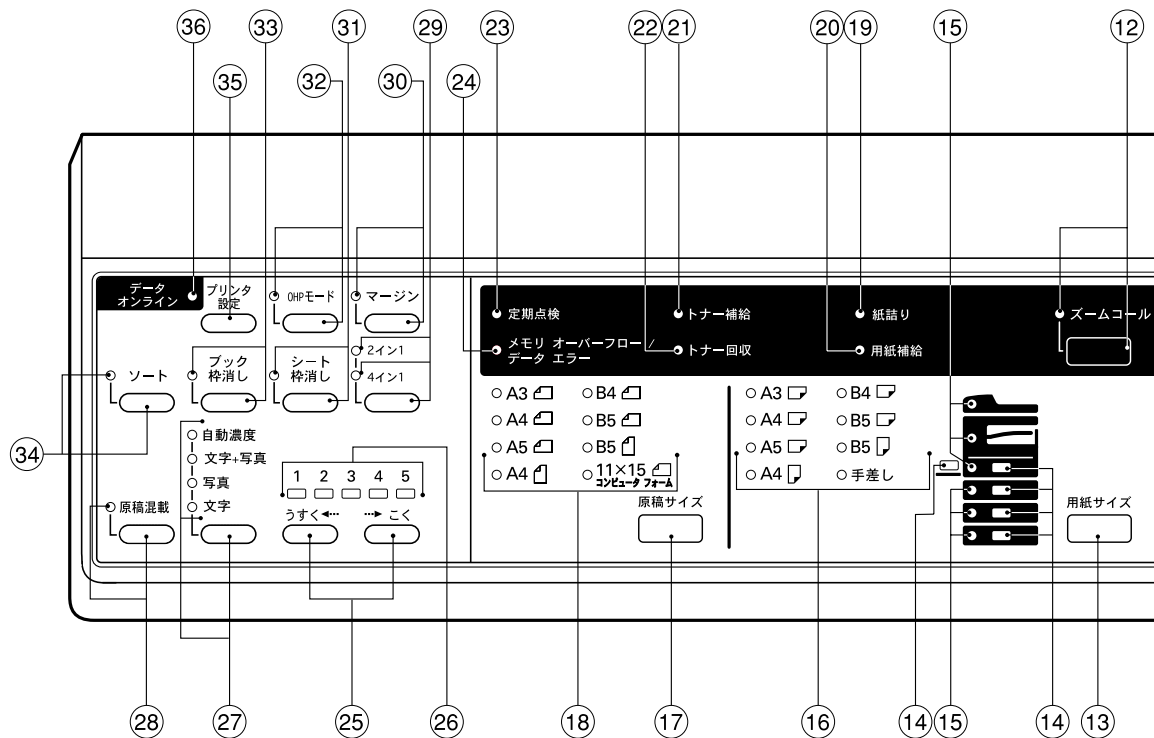
2 章 各部の名称

(1) 機械本体



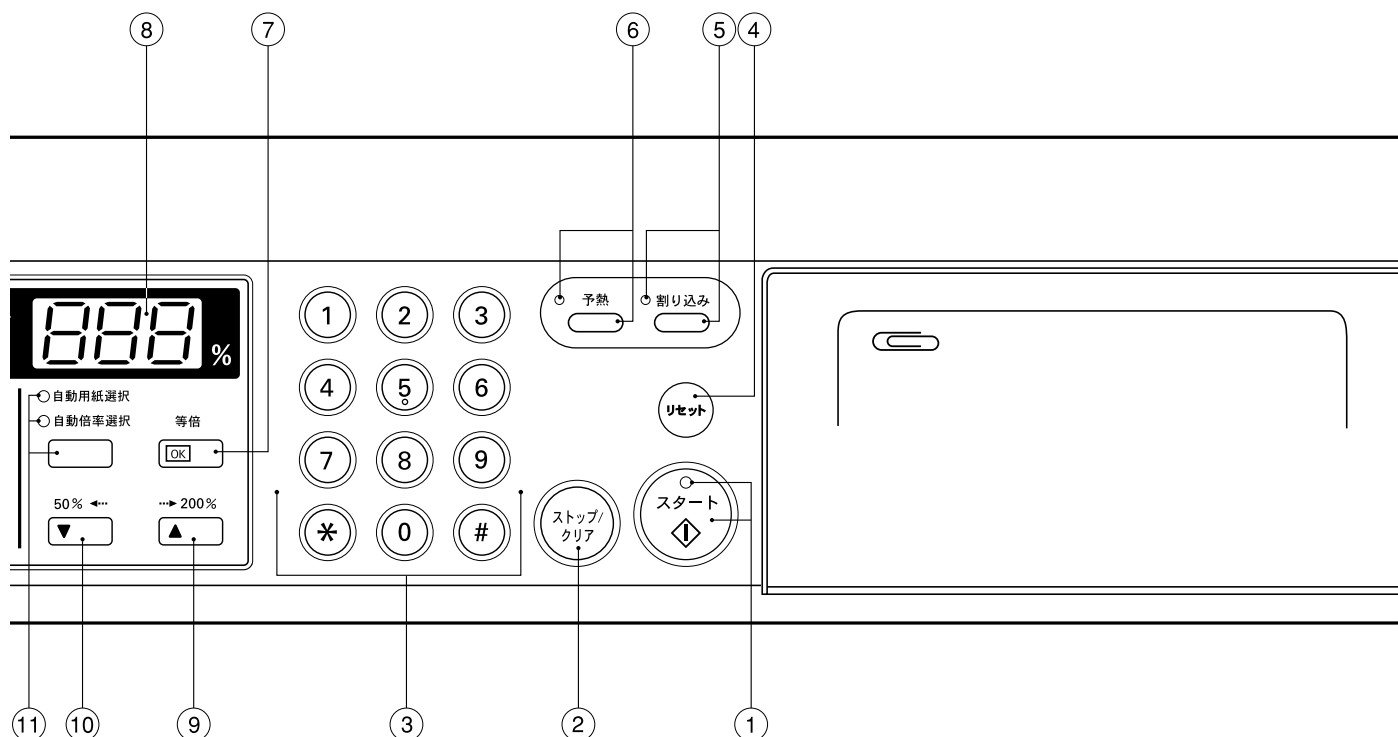
- ① 原稿押さえ
(コンタクトガラスに原稿をセットするときに開閉してください。)
- ② 操作パネル
(コピーの操作はここで行います。)
- ③ 左カバー取手
(左カバーを開けるときにはここを持ってください。)
- ④ 左カバー
(紙詰りが発生したときに開いてください。)
- ⑤ 手差し
(小サイズ用の紙にコピーするときや特殊紙にコピーするときはここに用紙をセットしてください。)
- ⑥ スライダー
(手差しに用紙をセットするときに用紙幅に合わせてください。)
- ⑦ 補助ガイド
- ⑧ トナーカートリッジ
- ⑨ トナーカートリッジ解除レバー
(トナーカートリッジを交換するときに操作してください。)
- ⑩ トナー回収タンク
- ⑪ トナー回収タンク解除レバー
(トナー回収タンクを交換するときに操作してください。)
- ⑫ クリーナー棒
(トナーカートリッジを交換した後や画像に汚れがあらわれたときに引いてもう一度、押し込んでください。)
- ⑬ 前カバー
(トナーカートリッジを交換するときやトナー回収タンクを交換するときに開いてください。)
- ⑭ メインスイッチ
(コピーを始める前にこのスイッチをON (I) にしてください。)
- ⑮ コピー収納部
(仕上がったコピー用紙はここに収納されます。)
- ⑯ 排出部
- ⑰ カセット
(普通紙が250枚セットできます。)
- ⑱ コンタクトガラス
(原稿をここにセットしてください。セットするときは左奥に合わせて下向きにセットしてください。)
- ⑲ 原稿サイズ指示板
(原稿をセットするときは必ずこの指示線に合わせてください。)
- ⑳ 縦サイズ変更プレート
(カセットにセットする用紙の縦サイズに合わせてください。)
- ㉑ 横サイズ変更つまみ
(このつまみを持って横ガイドをカセットにセットする用紙の横サイズに合わせてください。)
- ㉒ カセット底板
(用紙をセットする際、押し下げてください。)
- ㉓ 搬送取手
(右側2カ所は凹部になっています。左側2カ所は引き出すと取手になります。)

2章 各部の名称



(2) 操作パネル

- ① スタートキー／表示
(コピーを開始するときを押してください。スタート表示が緑色に点灯しているときはコピーを開始します。)
 - ② ストップ／クリアキー
(コピー枚数や設定を変更するときを押してください。)
 - ③ テンキー
(コピー枚数や倍率を入力するときを押してください。)
 - ④ リセットキー
(P 2-4、「●初期モード」参照)
 - ⑤ 割り込みコピーキー／表示
(割り込みコピーするときを押してください。表示が緑色に点灯します。P4-5 参照)
 - ⑥ 予熱キー／表示
(コピーを使用しないときに、節電モードにするときに押してください。表示が緑色に点灯します。P4-6 参照)
 - ⑦ 等倍／OK キー
(コピー倍率を等倍に戻すときに押してください。選択した項目を確定するときにも押してください。)
 - ⑧ コピー枚数／倍率表示
(コピー枚数や縮小／拡大時の倍率を表示します。倍率を表示しているときは“%”が点灯します。)
 - ⑨ 倍率アップキー
(コピー倍率を大きくするときを押してください。)
 - ⑩ 倍率ダウンキー
(コピー倍率を小さくするときを押してください。)
 - ⑪ 自動モード選択キー／自動用紙選択表示／自動倍率選択表示
(自動用紙選択モードまたは自動倍率選択モードを選択するときにしてください。それぞれの表示が緑色に点灯します。)
 - ⑫ ズームスタートキー／表示
(ズームコピーモードでコピーをするときに押してください。P 4-3 参照)
 - ⑬ 用紙選択キー
(カセットもしくは手差しを選択するときを押してください。カセット段表示と用紙サイズ表示が緑色に点灯します。)
 - ⑭ カセット段表示
(選択されているカセット段の表示が緑色に点灯します。)
 - ⑮ 紙詰まり位置表示
(用紙が詰まっている位置が赤色に点灯します。)
 - ⑯ 用紙サイズ表示
(選択されたカセットもしくは手差しの用紙サイズを示します。)
 - ⑰ 原稿サイズ選択キー
(原稿サイズを選択するときを押してください。)
 - ⑱ 原稿サイズ表示
(選択された原稿サイズを示します。)
 - ⑲ 紙詰り表示
 - ⑳ 用紙補給表示
 - ㉑ トナー補給表示
(トナーが少なくなっているときに赤色に点灯します。P 3-5 参照)
 - ㉒ トナー回収表示
(トナー回収タンクの交換時期です。P 3-5 参照)
 - ㉓ 定期点検表示
(赤色に点灯したときはメンテナンスの時期がきています。P 8-2 参照)
 - ㉔ メモリオーバーフロー／データエラー表示
(原稿読み取り時にメモリ容量を超えたときに赤色に点灯します。)



- ②⑤ コピー濃度調整キー
(コピー濃度を薄くするときには左のキーを、濃くするときには右のキーを押してください。)
- ②⑥ コピー濃度表示
(手動濃度調整のとき、設定されている濃度レベルを示します。)
- ②⑦ 画像モード選択キー／自動濃度表示／文字＋写真表示／写真表示／文字表示
(画像モードを選択するときに押してください。P 4-2 参照)
- ②⑧ オートセクションキー／表示
(オプションのADFを設置しているときに使用できます。P 7-2 参照)
- ②⑨ 集約コピーキー／2 イン 1 表示／4 イン 1 表示
(集約コピーを行うときに押してください。P 5-4 参照)
- ③⑩ マージンキー／表示
(マージンコピーを行うときに押してください。P 5-1 参照)
- ③⑪ シート枠消しキー／表示
(シート枠消しを行うときに押してください。P 5-2 参照)
- ③⑫ OHP モードキー／表示
(厚紙やOHPフィルムにコピーするとき押してください。P 3-3 参照)
- ③⑬ ブック枠消しキー／表示
(ブック枠消しを行うときに押してください。P 5-2 参照)
- ③⑭ ソートキー／表示
(ソートコピーを行うときに押してください。P 5-6 参照)
- ③⑮ プリンタキー
(オプションのプリンタ機能を使用するとき押してください。)

- ③⑯ データオンライン表示
(オプションのプリンタ機能を使用しているときや、PCからのデータ受信時に緑色に点灯／点滅します。)

●初期モード（ウォームアップが完了またはリセットキーを押したとき）

コピーモードは原稿と同じサイズの下紙にコピーする自動用紙選択モード、コピー枚数はセットは“1”、コピー濃度は“文字＋写真モード”が自動的に選択されます。

●オートクリア機能について

コピー終了後、約 120 秒経過すると機械は自動的にウォームアップが完了した状態に戻ります。(ただし露光モードは元に戻りません。) オートクリア機能がはたらく前なら、コピーモードやコピー枚数、コピー濃度の設定などを同じ状態で繰り返しコピーできます。

●オートカセットチェンジ機能について

同じサイズで同じ向きの下紙がセットされているカセットが2つ以上あって、コピー中に1つのカセットの下紙が無くなったとき、自動的に同じサイズで同じ向きの下紙がセットされているカセットに切り換えてコピーを続けます。

※オートカセットチェンジ機能を OFF にすることもできます。(P6-5、「オートカセットチェンジ」参照)

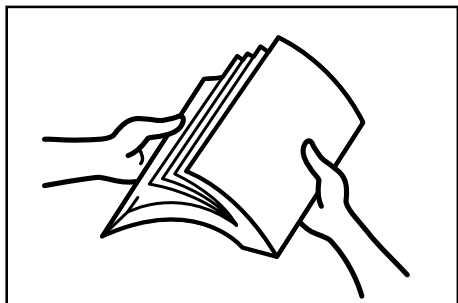
3 章 ご使用前の準備

1. 用紙の補給

本機はカセットと手差しに用紙をセットすることができます。

(1) 用紙補給時の注意

包装紙から出した用紙はトレイにセットする前に数回さばいてください。



重要

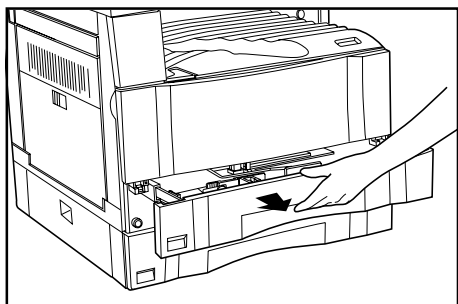
標準カセット、オプションカセットおよび手差しに用紙が残っている状態で用紙を補給すると紙詰まりの原因になります。

(2) カセットへの補給

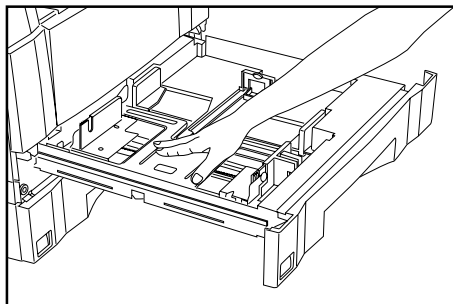
カセットには、普通紙 (64g/m²) やカラーペーパーをそれぞれ 250 枚収納できます。

カセットは A3 ~ A5R まで自由にサイズを変更することができます。

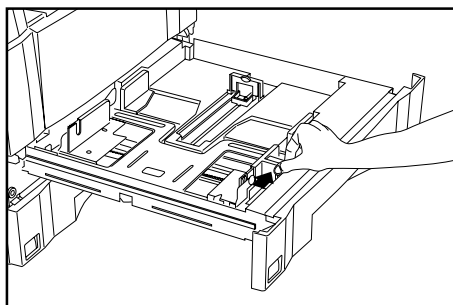
- 1 カセットを手前いっぱい引き出してください。
※オプションカセットを設置しているときは複数のカセットを抜かないようにしてください。



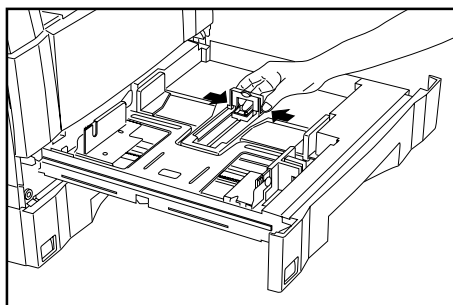
- 2 カセット底板を押し下げて、固定してください。



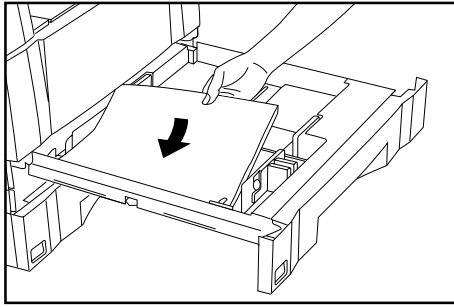
- 3 横サイズ変更つまみを持って用紙幅に横ガイドを合わせてください。
用紙サイズはカセットに刻印されています。



- 4 縦サイズ変更プレートの両側をつまみながら移動させ、縦方向の用紙長さに合わせてください。

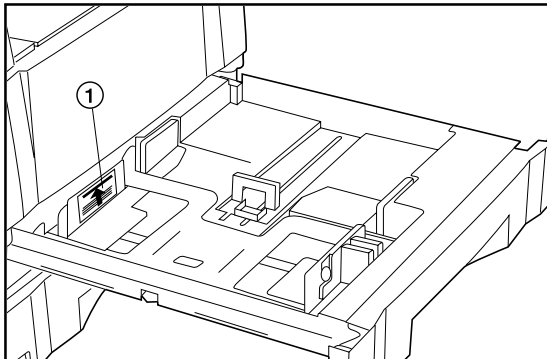


- 5** 用紙をカセットの左端にそろえて、セットしてください。

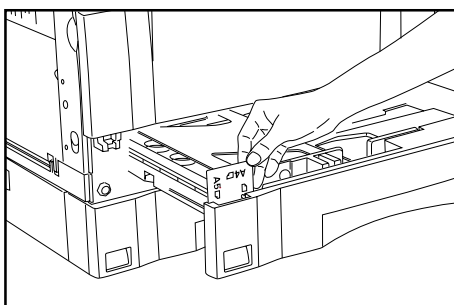


重要

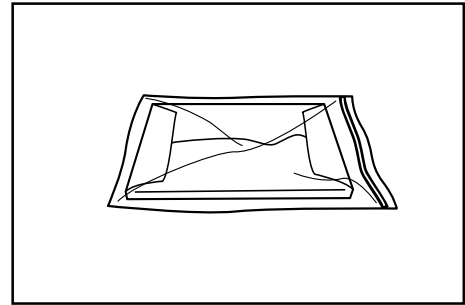
- ※用紙の収納可能量を示すラベル（イラストの①）を貼っています。ラベルの目盛り以下に用紙をセットしてください。
- ※カセットに用紙を補給する場合は、コピーされる面を上向きにセットしてください。（用紙を開封したとき、コピー面が上側になります。）
- ※縦サイズ及び横サイズの変更プレートがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦サイズ変更プレートまたは横ガイドをセットしなおしてください。
- ※高温多湿環境で小サイズの用紙で紙詰まりが発生する場合は、用紙のセット量をラベル（イラストの①）に指示された黒線まで枚数を減らしてください。



- 6** セットした用紙サイズがカセット正面からわかるように付属の用紙シートをセットしてください。



- 7** カセットを静かに押し込んでください。
- ※強く押し込むと用紙がカセットの爪から外れ、紙詰まりの原因となることがあります。
 - ※機械を長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。また、高温多湿環境で保存するときは、防湿袋に入れて密封保管してください。



(3) 手差しへの補給

普通紙の他、特殊紙をセットすることができます。特殊紙へコピーするときは必ず手差しを使用してください。

※普通紙やカラーペーパーのセットできる枚数はサイズによって異なります。

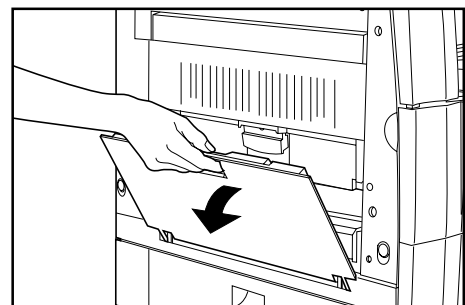
A3, B4 : 25 枚

A4, B5, A5 (タテ)、B6 (タテ)、A6 (タテ) : 50 枚

※使用できる特殊紙とそのセット可能枚数は次の通りです。

- ・第2原図 : 1 枚
- ・更紙 : 1 枚
- ・官製ハガキ : 20 枚
- ・のし紙 : 1 枚
- ・OHP フィルム : 1 枚
- ・普通紙 (120 g / m²、160 g / m²) : 1 枚

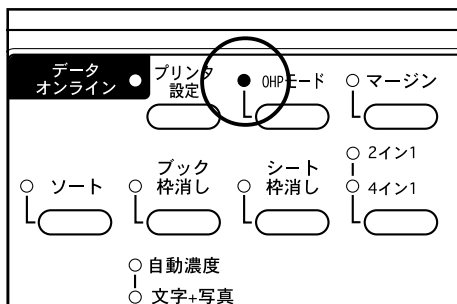
- 1** 手差しを開いてください。



3章 ご使用前の準備

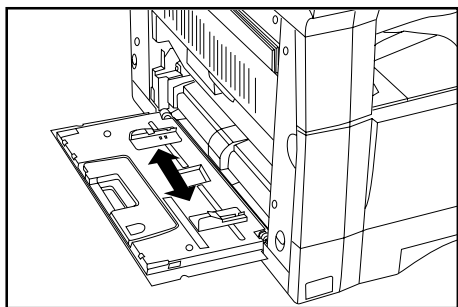
重要

厚手の用紙やOHPフィルムにコピーするときは、OHPモードキーを押して、OHPモード表示を点灯させてください。

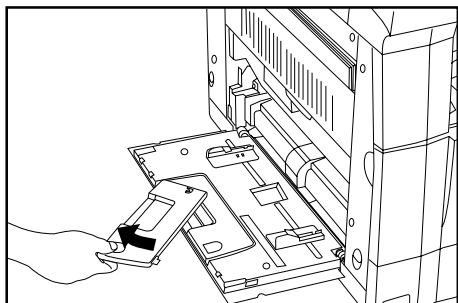


※OHPフィルムをセットするときは、初期設定の「OHPモード設定」(P6-6 参照)で「OHP」を厚紙を使用するときは、「厚紙」を選択してください。

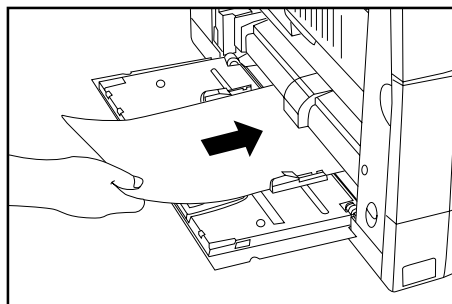
2 セットする用紙の幅にスライダを合わせてください。



※A4 (タテ) より長い用紙をセットするときは、補助ガイド開いてください。



3 用紙をスライダーに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。



重要

手差しに用紙を補給する場合は、コピーされる面を下向きにセットしてください。(用紙を開封したとき、コピー面が上側になります。) 先端カールがある場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

補足

手差しからOHPフィルムを通す時は、OHPフィルムと同じ大きさの紙を1枚OHPフィルムの下に置いて手差しにセットしてください。

●手差しのサイズ設定

手差しのサイズを設定すると自動用紙サイズ選択などで原稿サイズに応じた自動選択が可能となります。

※手差し不定形サイズ幅設定の方法は初期設定 (P6-6 参照) の項目表示F13を参照ください。

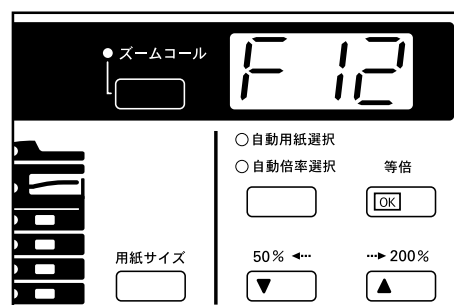
1 用紙選択キーを3秒間押し続けてください。現在の手差しの用紙サイズが点灯します。

枚数表示に「F12」が表示された後、2秒後に数字が表示されます。

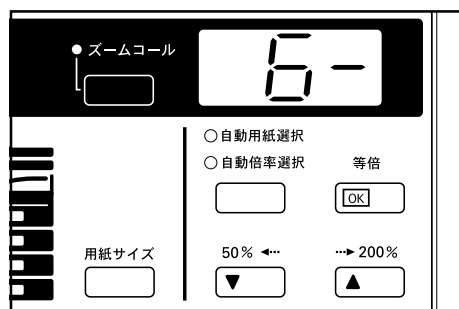
表示される数字は以下の用紙サイズを示します。

- 1 : A3
- 2 : A4 (タテ)
- 3 : A5 (タテ)
- 4 : A4
- 5 : B4
- 6 : B5 (タテ)
- 7 : B5
- 8 : 手差し

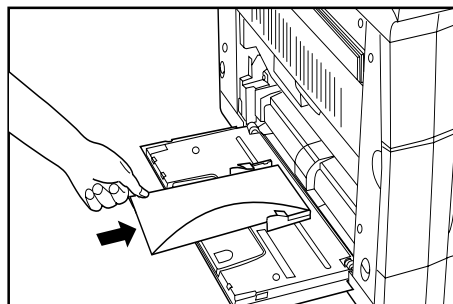
XXX : 手差し不定形サイズ幅設定値



- 2** 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して、数字を変更し、用紙サイズを選択してください。



- 3** 封筒の口を閉じて機械手前になるように、スライダーにあわせて奥までセットしてください。
※正しくセットされないと、異なった方向、異なった面にプリントすることがあります。



- 3** OK キーを押してください。選択されたサイズ用の紙サイズ表示が点灯します。通常のコピーができます。

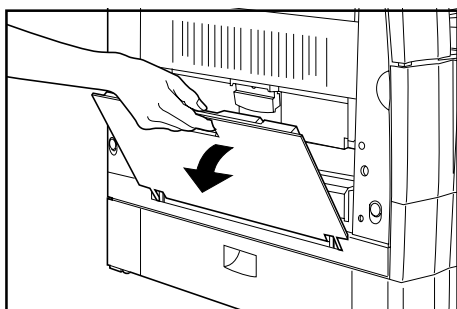
●封筒のセットのしかた

オプションのプリンタ機能を使用するときは、手差しに封筒をセットすることができます。

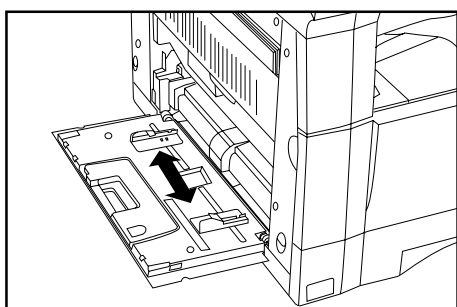
補足

使用できる封筒の種類は、洋型4号、洋型2号で一度に6枚までセットできます。

- 1** 手差しを開いてください。



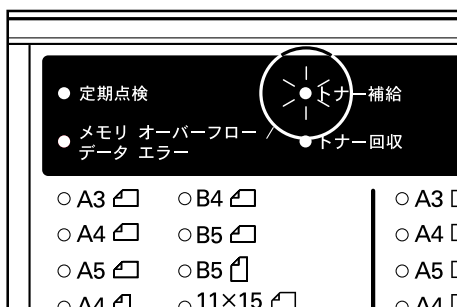
- 2** セットする封筒に合わせてスライダーを合わせてください。



2. トナーカートリッジとトナー回収タンクの交換

トナー補給表示が点灯したときは、トナーの補給を行ってください。表示が点灯すると数枚はコピーができますがすぐにトナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジの交換が終わりましたらトナー回収タンクの交換も行ってください。トナーカートリッジ交換後、トナー回収タンクが交換されないときはトナー回収表示が点灯します。

※トナーの補給は、トナー補給表示が点灯したときのみ行ってください。



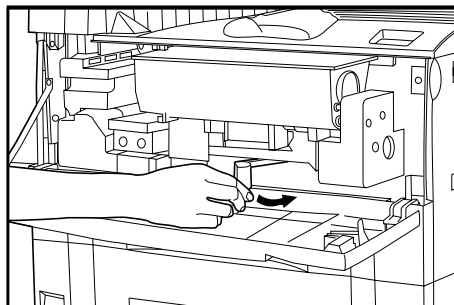
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

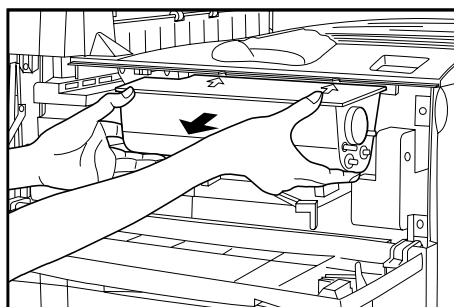
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

- 2** トナーカートリッジ解除レバーを右に止まるまで引き出してください。古いトナーカートリッジの固定が解除されます。



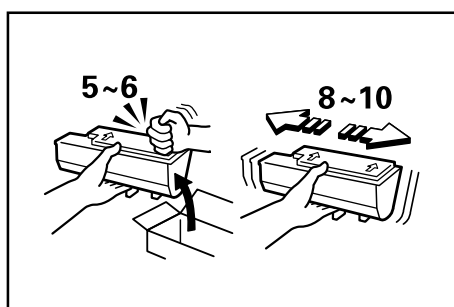
- 3** 古いトナーカートリッジを手前に引き出してください。



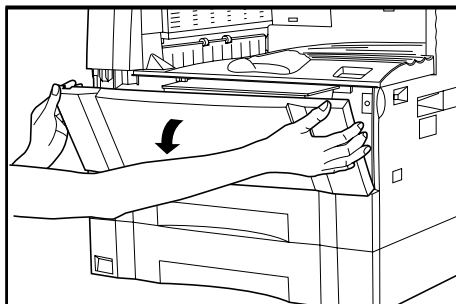
⚠ 警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

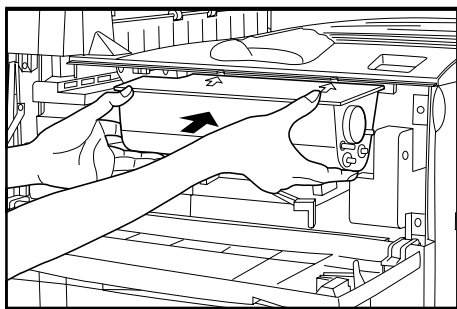
- 4** 新しいトナーカートリッジを軽く上から5～6回たたいて、水平方向に8～10回振ってください。



- 1** 前カバーを開けてください。

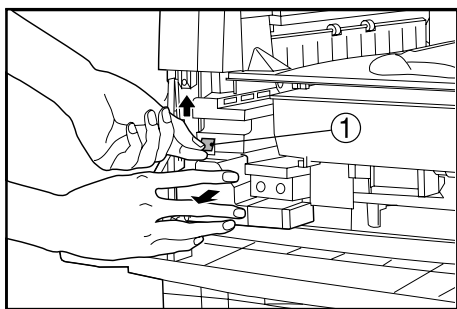


- 5** 新しいトナーカートリッジをセットしてください。
※トナーカートリッジの上部にある矢印を本体の切り欠きに合わせて挿入してください。

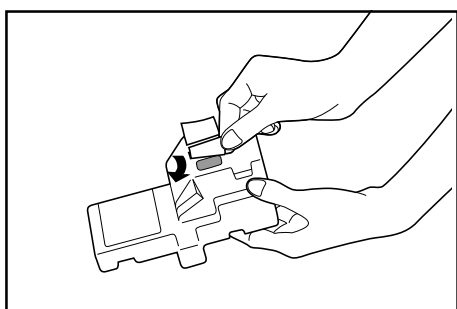


- 6** トナーカートリッジ解除レバーを左に止まるまで回してください。
新しいトナーカートリッジが固定されます。

- 7** トナー回収タンク解除レバー（イラストの①）を上を押して、トナー回収タンクを取り出してください。



- 8** トナー回収タンクのシールで開放口をふさいでください。



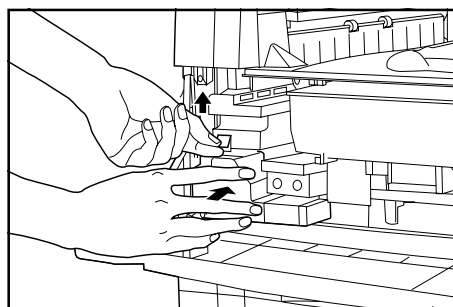
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

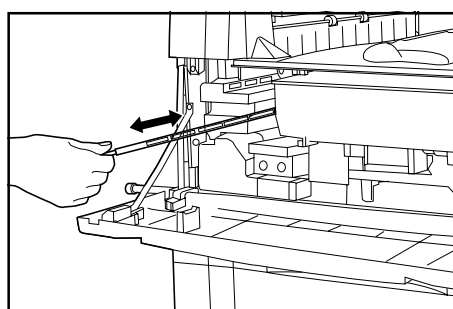
⚠ 注意

トナーコンテナおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

- 9** トナー回収タンク解除レバーを上を押して、新しいトナー回収タンクをセットしてください。



- 10** クリーナー棒をゆっくり引き出せるところまで引っ張り、もう一度押し込んでください。



重要

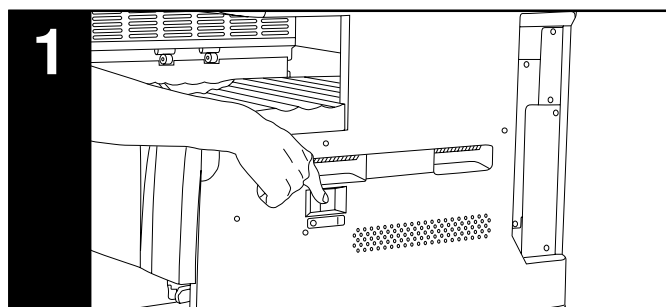
むりやりひっぱたり、引き抜いたりしないでください。

- 11** 前カバーを閉めてください。

- 使用後、不要となりましたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

4章 基本的なコピー

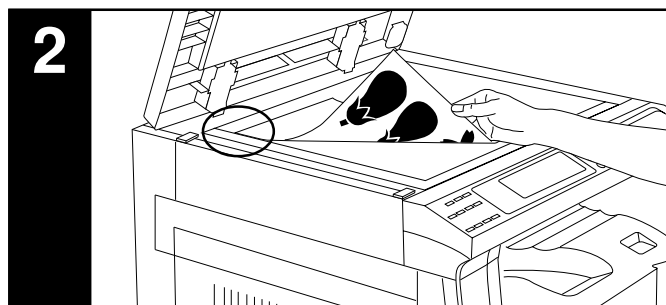
1. 基本的なコピーのしかた



1. 機械のウォームアップ

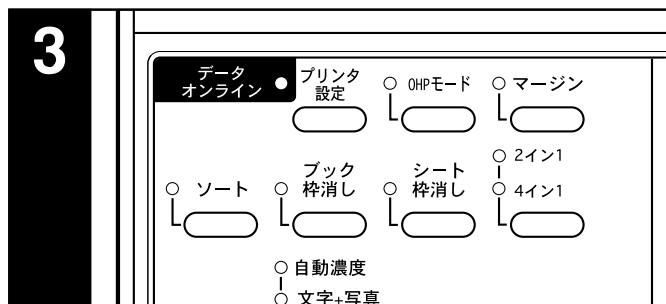
メインスイッチをON（|）にして、ウォームアップが完了すると、スタート表示が点灯します。

※ウォームアップが完了する前に、原稿をセットしてスタートキーを押すと、ウォームアップが完了すると同時にコピーを開始します。



2. 原稿のセット

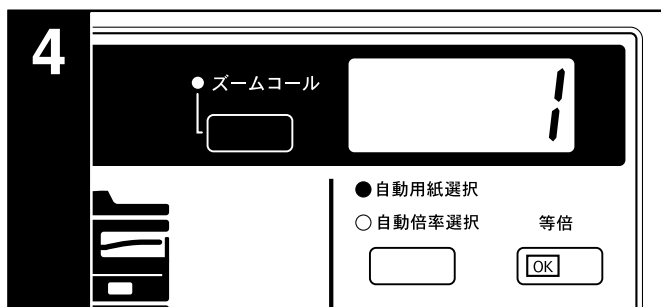
コンタクトガラスに原稿をセットしてください。左奥を基準に原稿サイズ指示版に合わせてセットしてください。



3. 機能の選択

本機の持つさまざまな機能を選択してください。

※コピー機能に関してはP4-3～P5-6を参照してください。



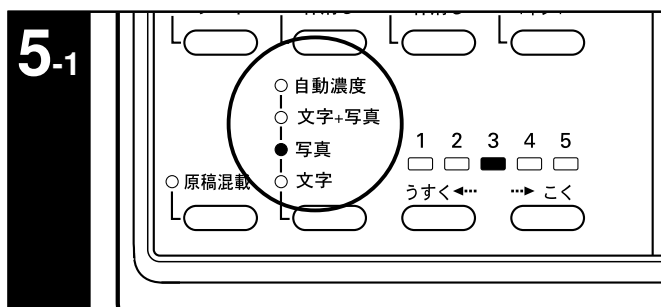
4. 用紙の選択

原稿と同じサイズ of 用紙でコピーするときは、自動用紙選択表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、自動モード選択キーを押して、点灯させてください。原稿と異なる用紙サイズに等倍でコピーするときは用紙選択キーを押して用紙を選択し、等倍キーを押してください。

※常に手動で用紙サイズを選択することもできます。

（P6-5、「用紙選択」参照）

※原稿が無い状態で、自動的に選択されるカセット（給紙段）を選択することができます。（P6-5、「優先カセット」参照）



5. 画質の選択

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。画像モード選択キーを押して以下の表示を点灯させてください。自動で調整：自動濃度表示を点灯させてください。

写真原稿：写真表示を点灯させてください。

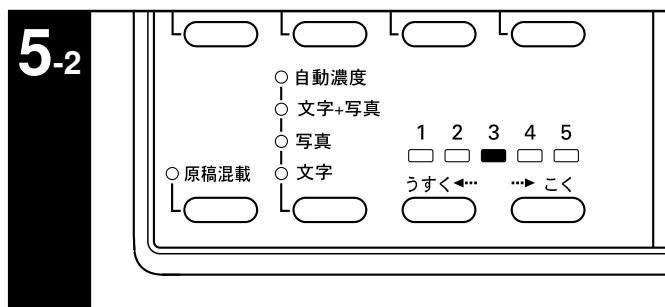
文字+写真原稿：文字+写真表示を点灯させてください。

文字原稿：文字表示を点灯させてください。

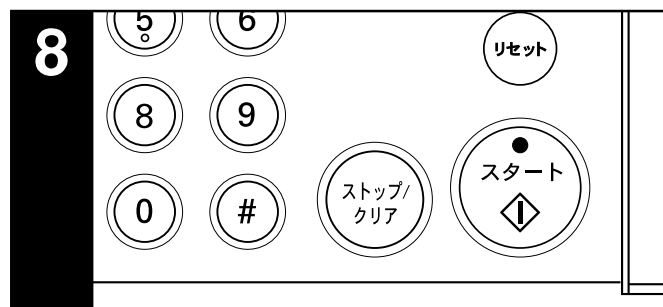
※それぞれの画質のモードで濃度調整をすることができます。

（P6-4、6-5「自動濃度調整、文字+写真原稿濃度調整、文字原稿濃度調整、写真原稿濃度調整」参照）

※初期モードで選択される画質のモードを選択することができます。（P6-4、「濃度モード」参照）

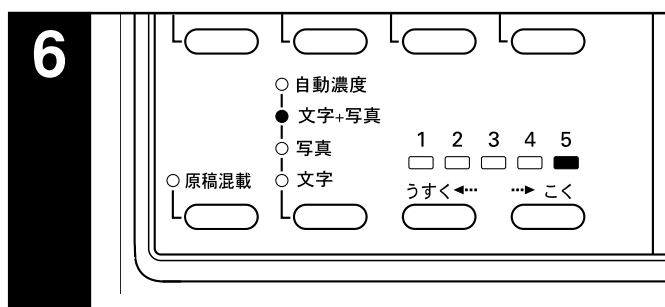


自動濃度表示、写真表示、文字+写真表示、文字表示を全て消灯させると、濃度が薄くなりトナーの消費量の少ないエコモードになります。高品質な印刷が必要ないときにご使用ください。



8. コピースタート

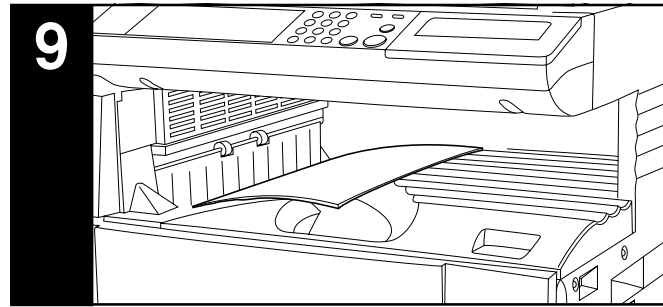
スタートキーを押してください。スタート表示が緑色で点灯しているときはコピーできます。



6. コピー濃度の調整

自動濃度を除くそれぞれの画質で濃度を選択するときすることができます。コピーを濃くしたいときは、右のコピー濃度調整キーを押して濃度目盛りを右に移動してください。コピーを薄くしたいときは、左のコピー濃度調整キーを押して濃度目盛りを左に移動してください。

※濃度調整のレベルを5段階と9段階のどちらかを選択することができます。(P6-4、「濃度ステップ」参照)



9. コピー終了

仕上がったコピーはコピー収納部に排紙されます。

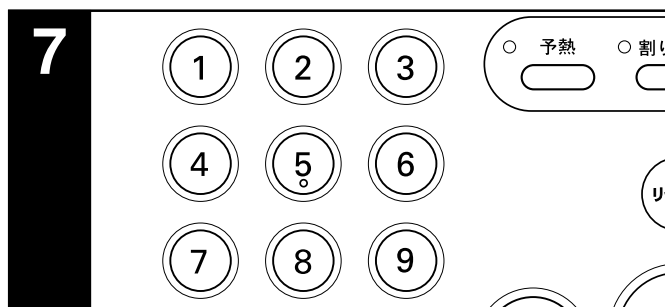
※収納枚数は普通紙(64g/m²)で250枚までです。

但し使用ペーパーの状態により収納枚数は変化します。

※ジョブセパレータを装着している場合は収納枚数は普通紙(64g/m²)で150枚までです。

※“OF”の表示が出た場合はコピー収納部の用紙を取り除いた後、スタートキーを押してコピーを再開してください。ジョブセパレータを使用している場合はジョブセパレータの用紙を取り除くと自動的にコピーが再開します。

※仕上がったコピーがカールなどしてきれいに収納されないときは、使用されているカセットまたは手差し用の紙を一度取り出し、裏返してからセットしなおしてください。

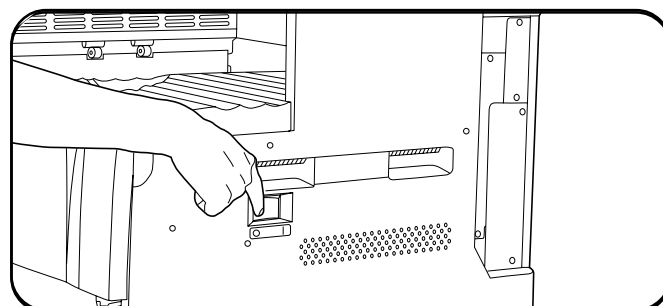


7. コピー枚数の設定

テンキーを押して、メッセージ表示のコピー枚数表示を希望の枚数にしてください。一度に250枚までセットできます。

※一度にできるコピー枚数を制限することもできます。

(P6-6、「コピー部数制限」参照)



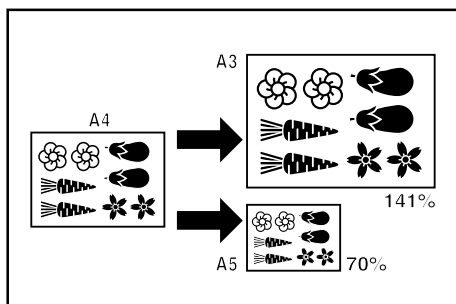
⚠ 注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. コピーの縮小／拡大

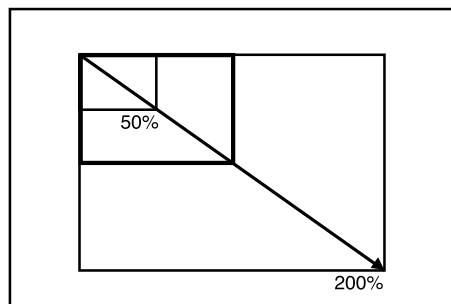
(1) 自動倍率選択モード

選択した用紙サイズに合わせて縮小／拡大します。



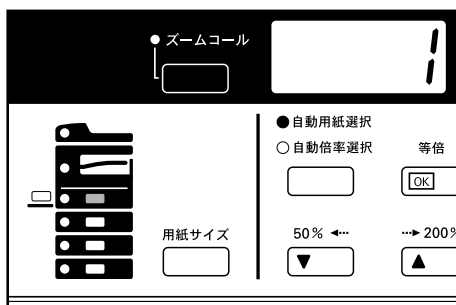
(2) ズームコピー

50～200%の範囲で1%きざみで倍率を変えることができます。

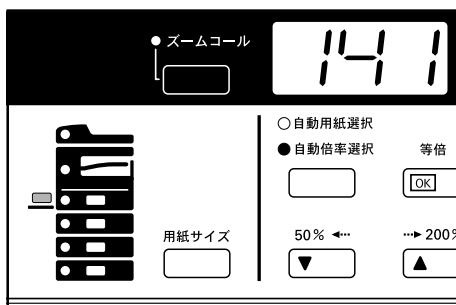


1 自動倍率選択表示を点灯を確認してください。消灯しているときは、自動モード選択キーを押してください。

2 原稿をセットしてください。
原稿サイズを自動的に検知し、同じサイズ of 用紙を選択します。

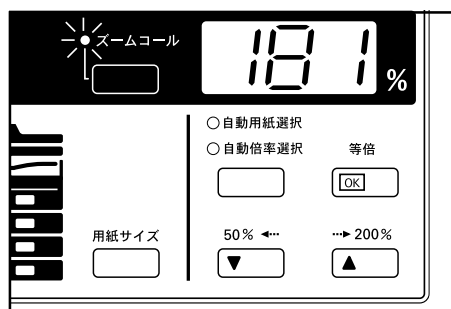


3 用紙選択キーを押して用紙を選択してください。
コピー倍率が点滅し、枚数表示に変わります。
※スタートキーを押すとコピーを開始します。



1 原稿をセットしてください。

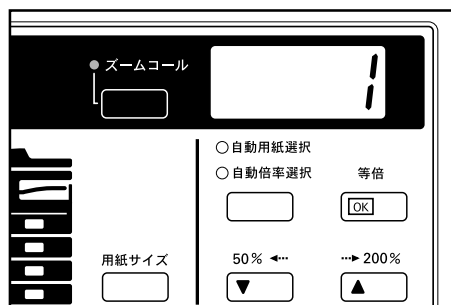
2 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーで表示されている倍率を変更してください。
倍率表示で“%”が点灯します。



補足

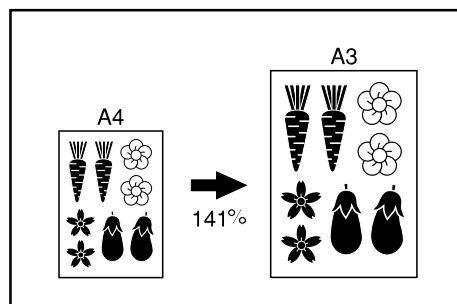
倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押した後、テンキーで倍率を入力することもできます。

3 ズームコールキーを押してください。倍率が確定し、倍率表示から枚数表示に変わります。
※この時、100%以外の倍率が設定されているときには、ズームコール表示が点灯します。
※用紙サイズを変更するときは用紙選択キーを押してください。
※スタートキーを押すとコピーを開始します。



(3) 定型変倍コピー

用紙サイズと原稿サイズを選択することによって自動的に倍率を決定します。

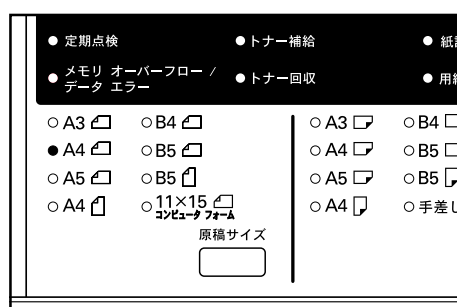


1 原稿をセットしてください。

2 自動モード選択キーを押してください。自動倍率選択表示を点灯させてください。

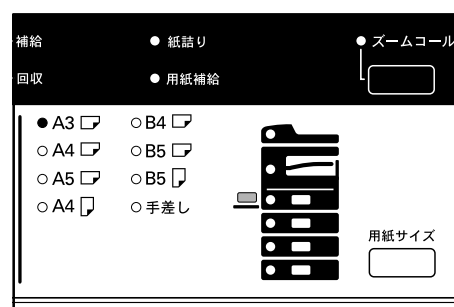


3 原稿選択キーを押して原稿サイズを選択してください。
倍率表示に倍率が表示されます。



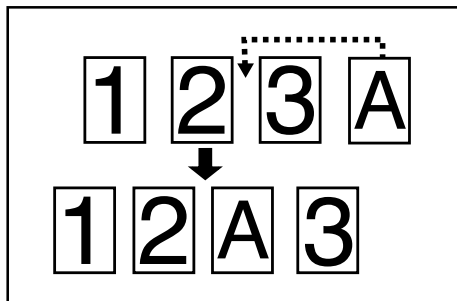
4 用紙選択キーを押して用紙サイズを選択してください。

3 秒間経過すると倍率表示は枚数表示に変わります。
※この時、100%以外の倍率が設定されているときには、ズームコール表示が点灯します。



3. 割り込みコピー

コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーしたいときは、割り込みコピーが便利です。割り込んだコピーの後に、中断されたコピーを同じ設定で再開することができます。

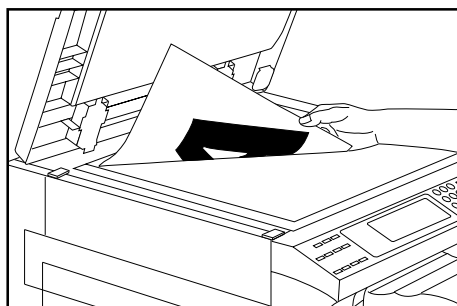


- 1 割り込みコピーキーを押してください。割り込みコピーができる状態になると、割り込みコピー表示が点灯にかわります。



- 2 コピー中の原稿をいったん保管しておいてください。

- 3 割り込み原稿をセットしてコピーを行ってください。

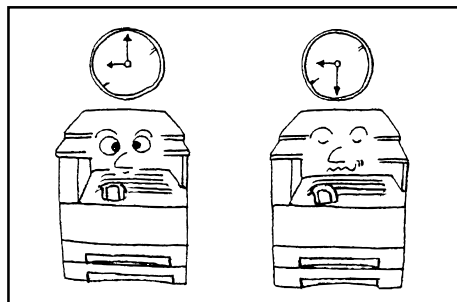


- 4 割り込みコピーが終了したら、割り込みコピーキーを押し、保管していた原稿に替えてください。スタートキーを押すと割り込み前のコピーを再開します。
※割り込みコピーが終了したら、約120秒経過すると、オートクリア機能が働き、割り込みコピー表示が消え中断されたコピー状態に戻ります。



4. 予熱（プレヒート）機能

メインスイッチが ON のときでも予熱キーを押すと、機械は休止状態になります。操作パネル上の表示は予熱表示だけが点灯し、他は消灯します。

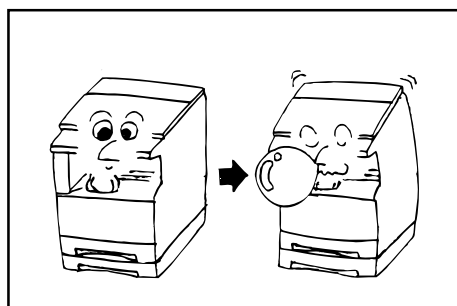


※コピーを再開するときは、もう一度予熱キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は 30 秒以内です。
 ※一定時間コピー作業をしないと自動的に予熱（プレヒート）機能が働くオート予熱モードを使用することができます。（P6-7、「オート予熱タイム」を参照）



5. オートシャットオフ機能

オートシャットオフ機能は、一定時間（15～240分）コピー操作を行わないと、自動的にメインスイッチを OFF（0）にする機能です。コピーを行うときはメインスイッチを ON（1）にしてください。



●オートシャットオフ機能について

オートシャットオフ機能は、一定時間コピー操作がないと自動的に電源を OFF（0）にする節電機能です。

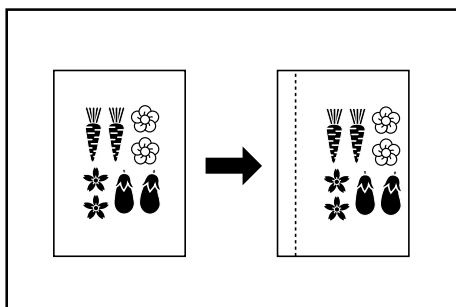
複写機は、一般にコピー作業中よりも待機状態が多く、待機時に消費する電力が全体の大きな割合を占めています。複写機本体が自動的に電源を OFF（0）にすることにより、待機中や夜間の電源の消し忘れなどの不要な電力の消費を抑えることができ、電気料金の削減を行うことができます。

※オートシャットオフ機能が働くまでの時間の変更は、P6-7、「オートシャットオフタイム」を、オートシャットオフ機能を解除するときは、P6-7、「オートシャットオフ」を参照してください。

5 章 機能的なコピー

1. マージンコピー

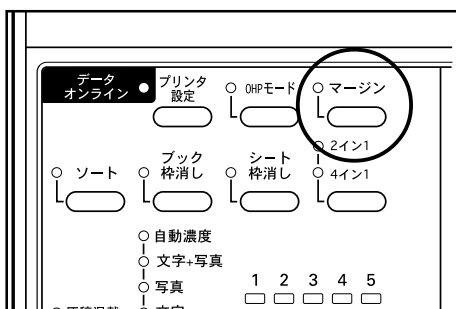
原稿の画像の位置を右にずらしてコピーし、左側に 1 ～ 18mm の幅で 1mm きざみでとじ代（余白）を作ります。



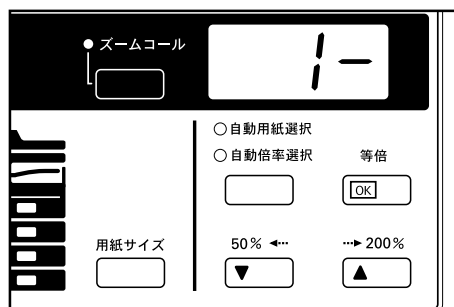
※マージンコピーを行うときは、オプションのメモリボードが必要です。

※マージン幅の初期値を上記の中から選択できます。
（P6-6、「マージン幅設定」参照）

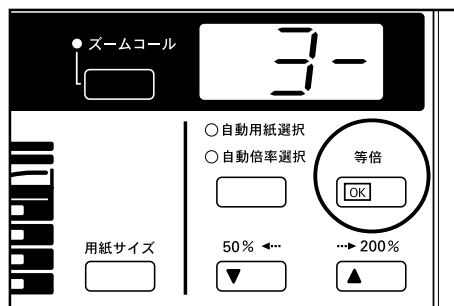
- 1 マージン幅を変更するときは、マージンキーを 3 秒間押し続けてください。枚数表示に“F17”が表示された後、2 秒後にマージン幅が数字で表示されます。マージン幅を変更しないときは手順 4 に進んでください。



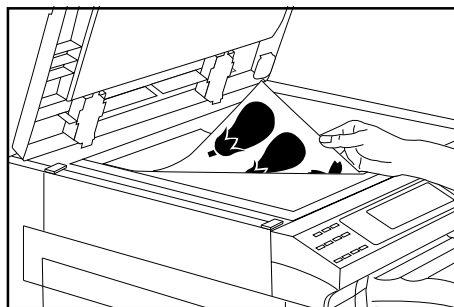
- 2 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して、数字を変更し、マージン幅を選択してください。



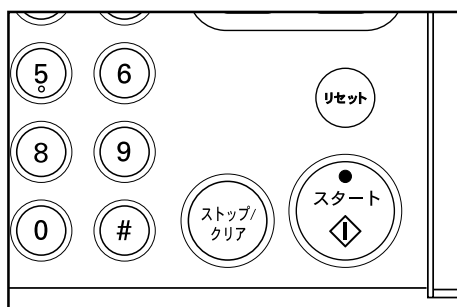
- 3 OK キーまたはマージンキーを押してください。枚数表示に変わります。この状態でマージンコピーが選択されます。



- 4 原稿をセットしてください。
※原稿は上方向（または左方向）が奥になるようにセットしてください。原稿のセット方向を誤ると設定した位置にとじ代が作られません。



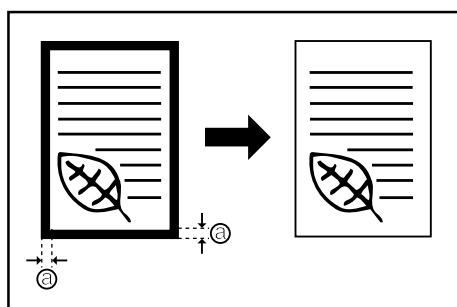
- 5** スタートキーを押してください。コピーを開始します。



2. 枠消し

(1) シート枠消し

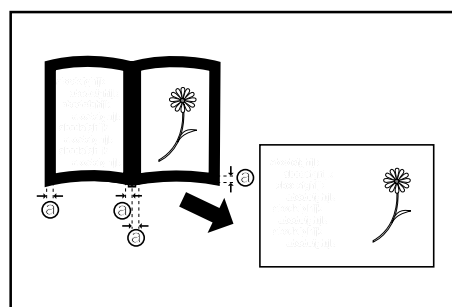
シート原稿のまわりにできた黒い陰を消すときに使用してください。枠消し幅は6、12、18mmの中から選択できます。(イラストの①aは枠消し幅)



- ※シート枠消しを行うときは、オプションのメモリボードが必要です。
- ※枠消し幅の初期値を設定することができます。(P6-6、「枠消し幅設定」参照) 初期値はブック枠消しの枠消し幅と共通です。

(2) ブック枠消し

分厚い本をきれいにコピーするとき使用してください。枠消し幅は6、12、18mmの中から選択できます。(イラストの①aは枠消し幅)



- ※ブック枠消しを行うときは、オプションのメモリボードが必要です。
- ※枠消し幅の初期値を設定することができます。(P6-6、「枠消し幅設定」参照) 初期値はシート枠消しの枠消し幅と共通です。

5章 機能的なコピー

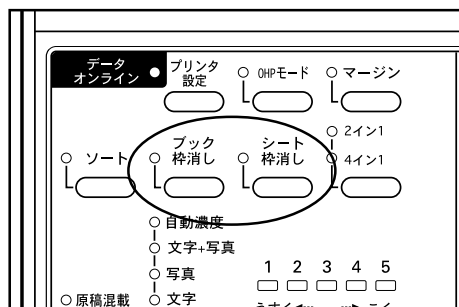
- 1** 枠消し幅を変更するときは、シート枠消しキーまたはブック枠消しキーを3秒間押し続けてください。枚数表示に“F18”が表示された後、2秒後に数字が表示されます。枠消し幅を変更しないときはどちらかのキーを押して手順4に進んでください。

表示される数字は以下の枠消し幅を示します。

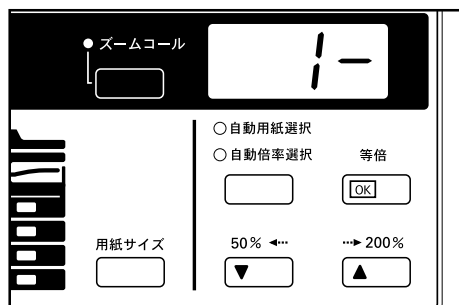
“1”：6mm

“2”：12mm

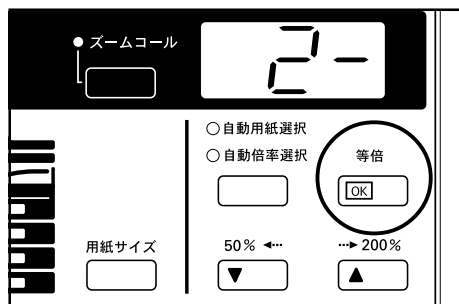
“3”：18mm



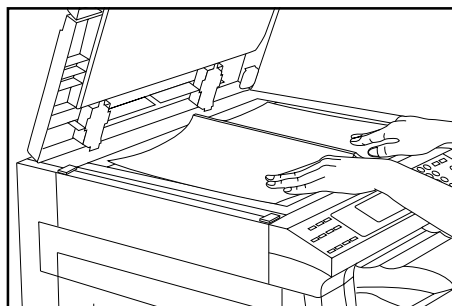
- 2** 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して、数字を変更し、枠消し幅を選択してください。



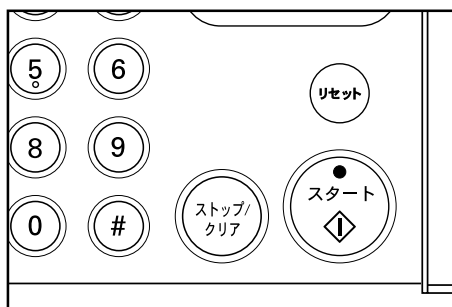
- 3** OKキーまたはシート枠消しキーかブック枠消しキーを押してください。枚数表示に変わります。この状態でシート枠消しまたはブック枠消しが選択された状態になります。



- 4** 原稿をセットしてください。
※ブック原稿をセットするときは、以下のイラストを参照してください。

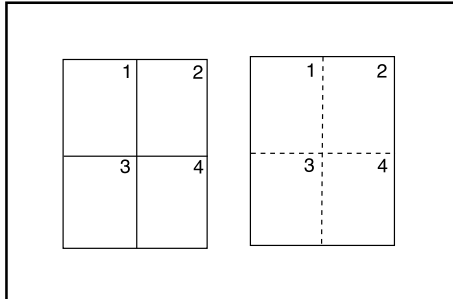


- 5** スタートキーを押してください。コピーを開始します。



3. 集約コピー

2枚あるいは4枚の原稿を縮小し、1枚のコピーに集約することができます。また、各原稿の境界線を実線、点線で区切ることもできます。



※集約コピーを行うときは、オプションのメモリボードが必要です。

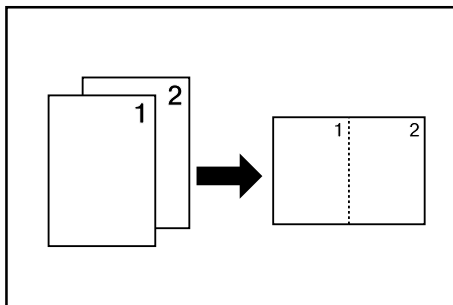
※境界線の初期値を設定できます。(P6-6、「集約境界線設定」参照)

※原稿サイズ、用紙サイズは定形サイズのみ使用できます。

● 2 in 1

2枚の原稿を1枚のコピーにします。

(原稿をコンタクトガラスにセットするときは1→2の順で行ってください。)

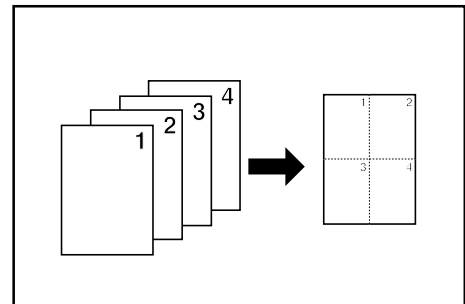


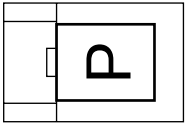
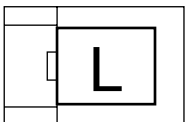
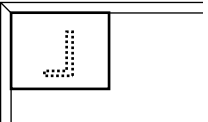
● 4 in 1

4枚の原稿を1枚のコピーにします。

(原稿をコンタクトガラスにセットするときは1→2→3→4の順で行ってください。)

※“4 in 1”モードは原稿のセット方向によってモードが異なります。縦置きに原稿をセットするか横置きにするか初期値を選択できます。(P6-6、「集約4 in1 設定」参照)



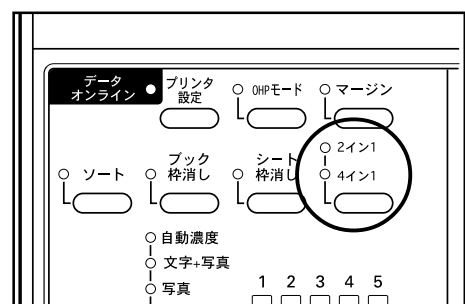
原稿	原稿のセット場所	
	DF	コンタクトガラス
 縦		
 横		

1 境界線の種類を変更するときは、集約コピーキーを3秒間押し続けてください。枚数表示に“F20”が表示された後、2秒後に数字が表示されます。境界線の種類を変更しないときは手順4に進んでください。表示される数字は以下の境界線を示します。

“1”：境界線なし

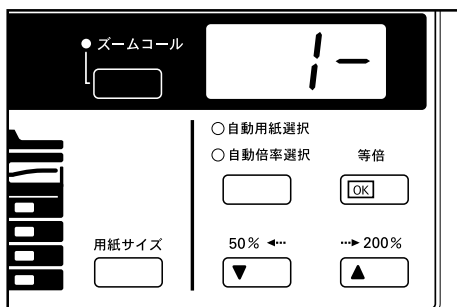
“2”：実線

“3”：点線

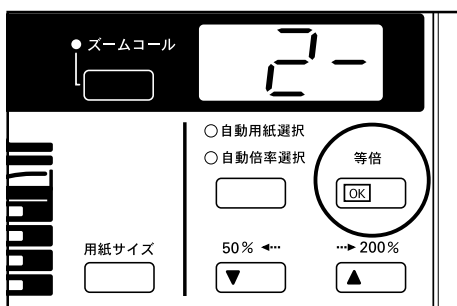


5章 機能的なコピー

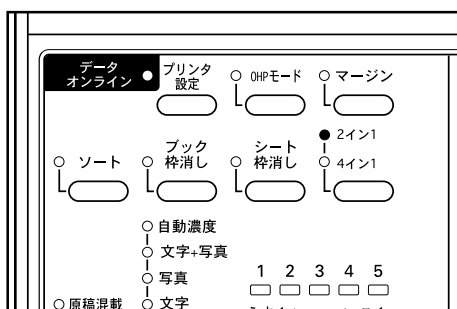
- 2** 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して、数字を変更し、境界線を選択してください。



- 3** OKキーまたは集約コピーキーを押してください。枚数表示に変わります。

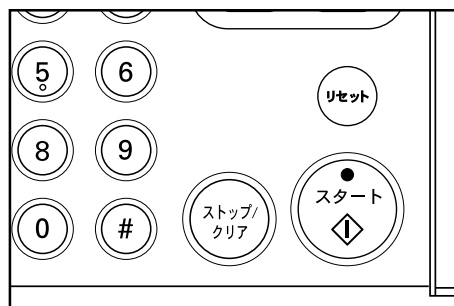


- 4** 集約コピーキーを押して、2イン1表示または4イン1表示を点灯させてください。

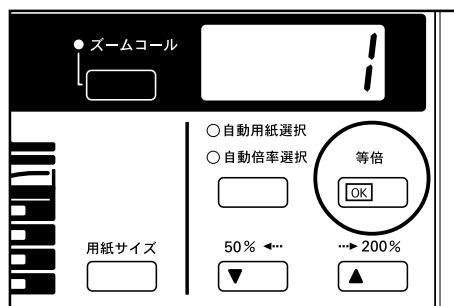


- 5** 原稿をセットしてください。
※原稿をコンタクトガラスにおいてコピーするとき
は、セットする順番を確認してから行ってください。

- 6** スタートキーを押してください。
※DFに原稿をセットした場合は、原稿を1枚ずつ読み取り、コピーまで行います。
※コンタクトガラスに原稿をセットした場合には、1枚目の原稿の読み取りが終了すると“1”（原稿読み取り枚数）が表示されます。原稿を入れ替えてスタートキーを押してください。コピーする原稿に同様の操作を行ってください。



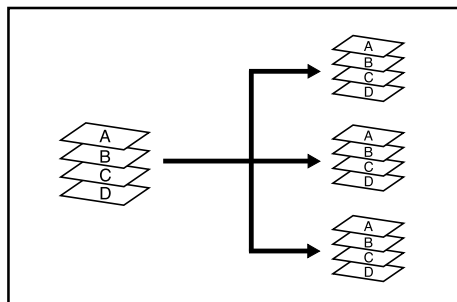
- 7** 原稿の読み取りが終了したら、OKキーまたは集約コピーキーを押してください。コピーを開始します。



4. ソートコピー

複数枚の原稿をいったんメモリに記憶させ、必要部数仕分けを行います。

※ソートコピーを行うときは、オプションのメモリボードが必要です。

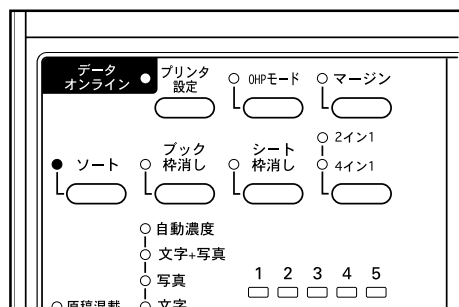


補足

回転ソートコピー

P6-6、「回転ソート設定」が“ON”に設定されていると、用紙がA4またはB5であれば、1部ずつのコピーの方向を変えてコピーし、仕分けがしやすくなります。この設定を使用するときにはA4またはB5の用紙が本体カセットやオプションカセットでセットされていなければなりません。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 ソートキーを押して、ソート表示を点灯させてください。



補足

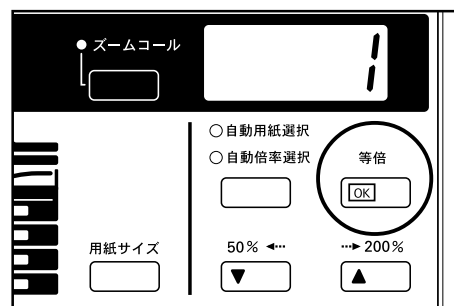
P 6-6、「出力モード設定」で“ソートON”が選択されているとソート表示は点灯し、ソートモードになっています。“ソートOFF”になっているときはソートキーを押してソート表示を点灯させてください。また、オプションのDFに原稿をセットしたときは、ソート表示が点灯しソートモードになります。

- 3 コピー部数を入力し、スタートキーを押してください。

※DF（オプション）に原稿をセットした場合は読み込みを開始し、コピーまで行います。

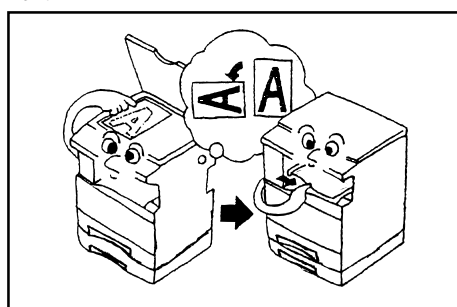
※コンタクトガラスに原稿をセットした場合には、1枚目の原稿の読み取りが終了すると“1”（原稿読み取り枚数）が表示されます。原稿を入れ替えてスタートキーを押してください。コピーする原稿に同様の操作を行ってください。

- 4 原稿の読み取りが終了したら、OK キーまたはソートキーを押してください。コピーを開始します。



5. 回転コピー

セットした原稿の向きとカセットの中の用紙の向きが異なる場合でも、画像を反時計回りに90°回転してコピーします。この機能に関して、特に設定などを行う必要はありません。※ソートコピーを行うときは、オプションのメモリボードが必要です。



補足

- ・自動用紙選択モードで、回転コピーできるのは、原稿／用紙ともにA4、A4（タテ）とB5、B5（タテ）に限られます。
- ・自動倍率選択モードで、回転コピーで使用できる用紙サイズは、A4、A4（タテ）、A5（タテ）、B5、B5（タテ）に限られます。

6 章 複写機の実管理モード

1. 部門管理

部門別に4桁の部門コード（暗証番号）を設定することにより、最大100部門までの部門別のトータルコピー枚数を管理します。



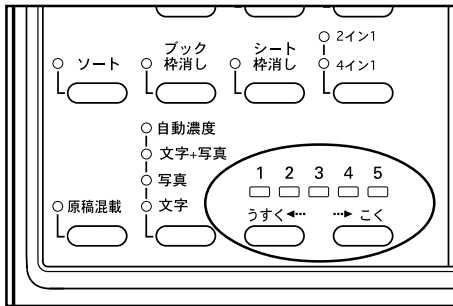
（1）部門管理のモード

各部門管理モードで選択項目がある場合には設定コードが設けられ、枚数表示に数字だけが表示されます。各数字が示す内容は設定コードの覧を参照してください。初期値には*がついています。

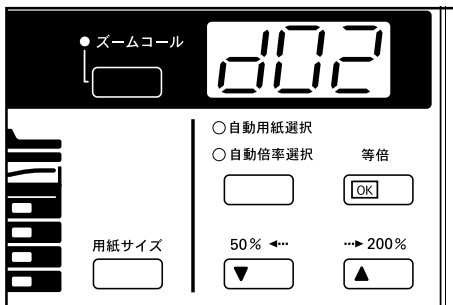
モード表示	部門管理モード	モード内容	設定コード
d01	部門管理 ON / OFF 設定	セットした部門管理モードを実際に働かせるときには ON に、部門管理を行わないときには OFF にしてください。	1：部門管理 ON 2：部門管理 OFF *
d02	部門管理番号登録	4桁の部門コードの登録を行います。部門コードは100部門まで登録することができます。	
d03	部門管理番号削除	必要がなくなった部門管理番号を削除することができます。	
d04	部門管理カウントクリア	一定期間にコピー枚数を管理した後など、コピー枚数を一括して消去することができます。部門コード別の消去はできません。	1：クリアする 2：クリアしない*
d05	部門管理リスト出力	部門別にコピーした枚数をレポート形式にして出力することができます。	
d06	プリンタ部門管理 ON / OFF 設定	本機のプリンタ機能から用紙を出力する際に、部門管理を行うときは ON に、部門管理を行わないときは OFF にしてください。 ・オプションのプリンタキットを装着していなければ、このモードは表示されません。	1：部門管理 ON * 2：部門管理 OFF

(2) 部門管理の設定方法

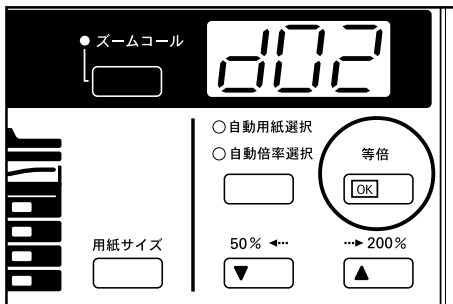
- 1** テンキーの“*”を押しながらさらに両方のコピー濃度調整キーを3秒間押してください。枚数表示に“d00”（モード表示）が表示されます。



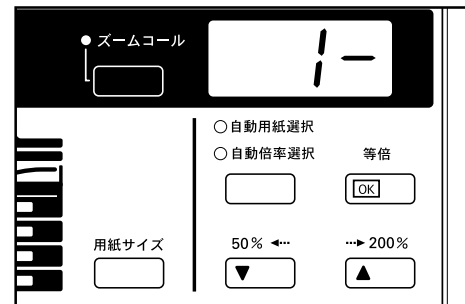
- 2** 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押すとモード表示が変わります。P6-1、「(1) 部門管理の各モード」の表を参照してモード表示を選択してください。



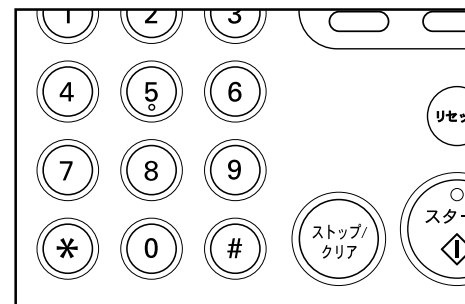
- 3** OKキーを押してください。
d01、d04、d06 を選択したとき：次の手順に進んでください。
d02、d03 を選択したとき：手順6に進んでください。
d05：部門管理リストの出力を行います。手順10に進んでください。このとき、A4用紙がカセットにセットされていることを確認してください。



- 4** 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押すと設定コードが変わります。P6-1、「(1) 部門管理の各モード」の表を参照して設定コードを選択してください。



- 5** OKキーを押してください。手順2に戻ります。部門管理の設定を終了するときは手順11に進んでください。
- 6** 登録あるいは削除する部門コード（4桁）をテンキーで入力してください。
※入力を誤った場合はストップ/クリアキーを押してやりなおしてください。

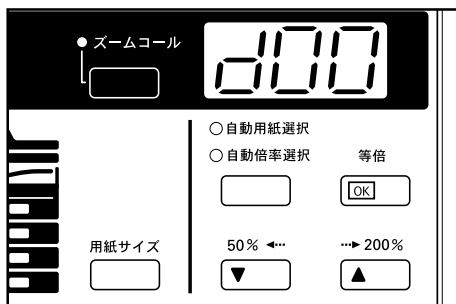


- 7** OKキーを押してください。
登録の場合は手順2に戻ります。部門管理の設定を終了するときは手順11に進んでください。
削除の場合は次の手順に進んでください。
- 8** 削除を実行するか確認します。削除を中止するときは“2”のまま、削除を実行するときは倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して“1”に変えてください。
- 9** OKキーを押してください。
手順2に戻ります。部門管理の設定を終了するときは手順11に進んでください。

6章 複写機の管理モード

10 出力が終了したら手順2に戻ります。その他の設定を行うときは上記の手順を参照してください。部門管理の設定を終了するときには次の手順に進んでください。

11 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して“d00”にして、確定キーを押してください。モード表示は枚数表示に変わります。



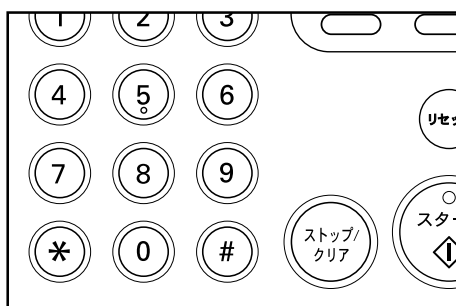
2 枚数表示に“1”が表示されると、通常のコピー操作を行ってください。
※コピー終了後は、予熱キーを押してください。また、オートクリア機能がはたらくともとの状態に戻ります。

(3) 部門管理時のコピー

部門管理を行っているときは、枚数表示に“———”が表示されます。

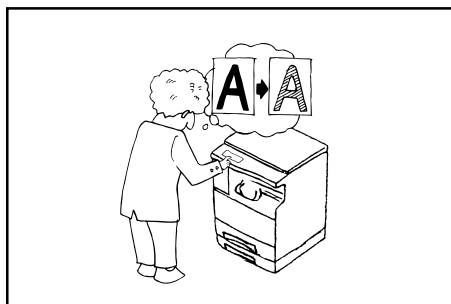


1 所属する部門コード（4桁）をテンキーで入力してください。



2. 初期設定

本機では、ウォームアップが終了した後やリセットキーを押した後の状態を初期モードといいます。初期モードのときに自動的に設定される機械の内容を初期設定とよびます。使用のしかたに応じてこれらの設定は自由に変更できます。



(1) 初期設定の項目

各初期設定の項目で選択項目がある場合には設定コードが設けられ、枚数表示に数字だけが表示されます。各数字が示す内容は設定コードの覧を参照してください。初期値には*がついています。

項目表示	設定項目	項目内容	設定コード
F01	ユーザーステータスレポート	初期設定の設定内容を出力します。	
F02	濃度モード	電源投入時の画質モードを選択します。	1 : 自動 2 : 文字+写真* 3 : 写真 4 : 文字
F03	濃度ステップ	手動濃度モードの濃度調整ステップ数を変更します。	1 : 5段階* 2 : 9段階
F04	自動濃度調整	自動濃度モード使用時の全体的なコピーの濃度を調整します。設定コードの数字を大きくすると濃度が濃くなります。	1 : 1 うすく 2 : 2 3 : 3 4 : 4* 5 : 5 6 : 6 7 : 7 こく
F05	文字+写真原稿濃度調整	画像モードで文字+写真原稿を選択しているときのコピーの濃度を調整します。設定コードの数字を大きくすると濃度が濃くなります。	1 : 1 うすく 2 : 2 3 : 3 4 : 4* 5 : 5 6 : 6 7 : 7 こく

6章 複写機の管理モード

項目表示	設定項目	項目内容	設定コード
F06	文字原稿濃度調整	画像モードで文字原稿を選択しているときのコピーの濃度を調整します。設定コードの数字を大きくすると濃度が濃くなります。	1 : 1 うすく 2 : 2 3 : 3 4 : 4 * 5 : 5 6 : 6 7 : 7 こく
F07	写真原稿濃度調整	画像モードで写真原稿を選択しているときのコピーの濃度を調整します。設定コードの数字を大きくすると濃度が濃くなります。	1 : 1 うすく 2 : 2 3 : 3 4 : 4 * 5 : 5 6 : 6 7 : 7 こく
F08	用紙選択	原稿をセットしたときに自動的に同じサイズ of 用紙が入ったカセットを選択させるか、あるいは手動で選択するかを設定します。	1 : 自動 * 2 : 手動
F09	自動倍率モード	原稿をセットし用紙選択キーを押したときに、選ばれたカセットサイズに自動的に変倍（自動倍率選択モード、P4-3 参照）するか、それとも等倍にするか設定します。	1 : 自動倍率優先 * 2 : 等倍優先
F10	優先カセット	ウォームアップが終了したときやリセットキーが押されたときに優先的に選択される給紙段を選択します。 ※オプションカセットがセットされていないときはこの設定は表示されません。	1 : 第 1 給紙 * 2 : 第 2 給紙 3 : 第 3 給紙 4 : 第 4 給紙
F11	オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジ機能（P## 参照）を使うかどうかを選択します。	1 : ON * 2 : OFF
F12	手差しサイズ設定	手差しの用紙サイズを固定して、自動用紙選択などで自動的に選択されるようにするときはここでサイズをセットしてください。	1 : A3 2 : A4 (タテ) 3 : A5 (タテ) 4 : A4 5 : B4 6 : B5 (タテ) 7 : B5 8 : 手差し * 手差し不定形サイズ幅設定値

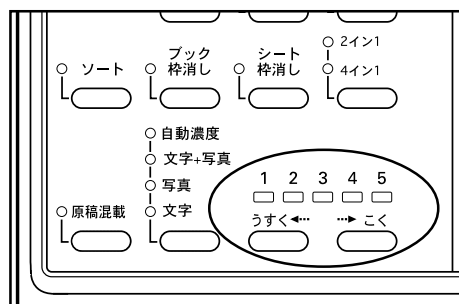
項目表示	設定項目	項目内容	設定コード
F13	手差し不定形サイズ幅設定	手差しで A4 などの標準用紙以外の用紙を使用するときは、ここで用紙幅を設定してください。	100～297mm (* 100mm)
F14	出力モード設定	“ソート ON” を選択すると、ADF 使用時に自動的にソートを行います。“ソート OFF” を選択するとソートを行いません。“ソート OFF” を選択したときやコンタクトガラスに原稿をセットしてソートモードを使用するときはソートキーを押してソート表示を点灯させてください。 ※ ADF (オプション) とメモリーボード (オプション) がセットされていないときはこの設定は表示されません。	1 : ソート ON * 2 : ソート OFF
F15	回転ソート設定	ソートモードが選択されているときに通常のソートコピー (P5-6 参照) か回転ソートコピー (P5-6 参照) のどちらかを設定します。 ※メモリーボード (オプション) がセットされていないときはこの設定は表示されません。	1 : ON * 2 : OFF
F16	コピー部数制限	一度にコピーできる部数を制限します。	1～250部 (* 250部)
F17	マージン幅設定	マージンコピー (P5-1 参照) でマージン幅の初期値を設定します。 ※メモリーボード (オプション) がセットされていないときはこの設定は表示されません。	1～18mm (* 6mm)
F18	枠消し幅設定	枠消し (P5-2 参照) でシート枠消しまたはブック枠消しでの枠消し幅の初期値を設定します。 ※メモリーボード (オプション) がセットされていないときはこの設定は表示されません。	1 : 6mm * 2 : 12mm 3 : 18mm
F19	集約 (4 in 1) 設定	集約コピーの 4 in 1 (P5-4 参照) を使用するとき原稿を縦にセットするか、原稿を横にセットするか選択できます。 ※メモリーボード (オプション) がセットされていないときはこの設定は表示されません。	1 : 原稿横セット (Z) * 2 : 原稿縦セット (N)
F20	集約 (境界線) 設定	集約コピー (P5-4 参照) で境界線を設定するとき、境界線の種類を選択できます。 ※メモリーボード (オプション) がセットされていないときはこの設定は表示されません。	1 : なし * 2 : 実線 3 : 点線
F21	OHP モード設定	手差しで OHP フィルムまたは厚紙を使用するときはここで用紙の種類を選択してください。	1 : OHP * 2 : 厚紙

6章 複写機の管理モード

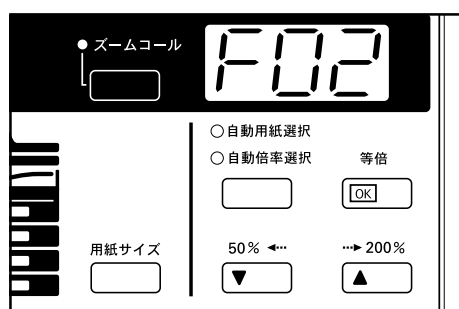
項目表示	設定項目	項目内容	設定コード
F22	静音モード	コピー終了後すぐに機械内部のモータを停止させる静音モードに移行させることができます。“ON”を選択するとコピーが終了した後、すぐにモータが停止します。	1 : ON 2 : OFF *
F23	コピー出力先設定	ジョブセパレータ（オプション）を使用しているとき、コピーを本機の排出部に排出させるか、ジョブセパレータに排出させるか選択できます。	1 : 本体排出 * 2 : ジョブセパレータ
F24	オートシャットオフ	コピーをとらないと自動的に電源が OFF になるオートシャットオフ機能（P4-6 参照）を ON にするか OFF にするかの設定ができます。 ※コピー操作においてオートシャットオフ機能が使用上の不便さを与える場合に、オートシャットオフを OFF（機能しない設定）にするようにしてください。 オートシャットオフを OFF（機能しない設定）にする前に、まずオートシャットオフ時間が働くまでの時間を長めに設定することをお勧めいたします。 ※オプションのプリンタキットを装着している場合は、オートシャットオフ機能が働くと、プレヒート状態になります。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。	1 : ON * 2 : OFF
F25	オート予熱タイム	コピー作業が終了して自動的に予熱機能（P4-6 参照）が働くまでの時間を設定できます。	1 : 5 分 2 : 10 分 3 : 15 分 * 4 : 20 分 5 : 25 分 6 : 30 分 7 : 35 分 8 : 40 分 9 : 45 分
F26	オートシャットオフタイム	コピーをとらないと自動的に電源が OFF になるオートシャットオフ機能（P4-6 参照）がはたらくまでの時間を設定できます。オートシャットオフ機能を OFF にすることもできます。そのときにはこの設定はできません。（「オートシャットオフ」参照） ※「オートシャットオフ」で“OFF”が選択されているときはこの設定は表示されません。 ※複写機を頻繁に使用される場合は、オートシャットオフが働くまでの時間を長めに、使用しない時間が多い場合は短めに設定することをお勧めいたします。 ※オートシャットオフ機能を解除する場合は「オートシャットオフ」を参照してください。 ※オプションのプリンタキットを装着している場合は、オートシャットオフ機能が働くと、プレヒート状態になります。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。	1 : 15 分 2 : 30 分 * 3 : 45 分 4 : 60 分 5 : 75 分 6 : 90 分 7 : 105 分 8 : 120 分 9 : 135 分 10 : 150 分 11 : 165 分 12 : 180 分 13 : 195 分 14 : 210 分 15 : 225 分 16 : 240 分
F27	トナーカウンターレポート	トナーの消費率をレポートで出力します。 これは、トナーの消費率を参考にすることによって、トナーカートリッジの交換時期を操作するのに役立ちます。例えば、トナーの消費率が多いとお感じのときは、エコモード（P4-2 参照）を併用されることをお勧めいたします。	

(2) 初期設定の設定方法

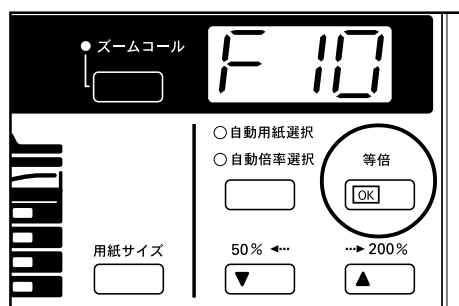
- 1 両方のコピー濃度調整キーを3秒間押し続けてください。枚数表示に“F00”（項目表示）が表示されます。



- 2 倍率アップキー、倍率ダウンキーまたはテンキーを押すと項目表示が変わります。「(1) 初期設定の項目」の表を参照して項目表示を選択してください。

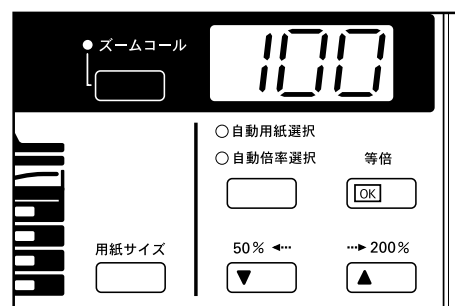


- 3 OKキーを押してください。
F01、F27を選択したとき：レポートの出力を行います。このとき、A4用紙がカセットにセットされていることを確認してください。手順4に進んでください。
F13を選択したとき：手順5に進んでください。
F16を選択したとき：手順7に進んでください。
上記以外を選択したとき：手順9に進んでください。

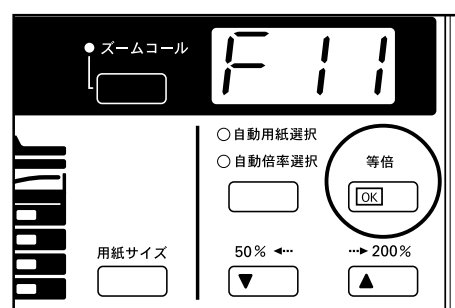


- 4 レポートの出力が終われば手順2に戻ります。その他の設定を行うときは下記の手順を参照してください。初期設定の設定を終了するときは手順11に進んでください。

- 5 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して用紙幅を入力してください。
100～297mmの幅で1mmきざみで設定できます。



- 6 OKキーを押してください。手順2に戻ります。初期設定の設定を終了するときは手順11に進んでください。



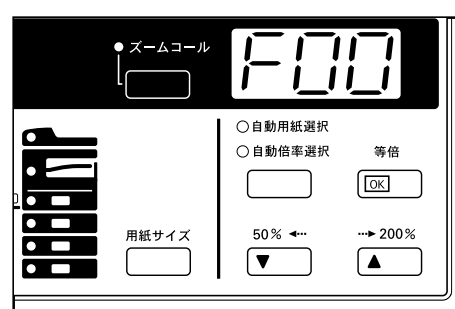
- 7 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して、制限枚数（250枚以下）を入力してください。

- 8 OKキーを押してください。手順2に戻ります。初期設定の設定を終了するときは手順11に進んでください。

- 9 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押すと設定コードが変わります。「(1) 初期設定の項目」の表を参照して設定コードを選択してください。

- 10 OKキーを押してください。手順2に戻ります。初期設定の設定を終了するときは次の手順に進んでください。

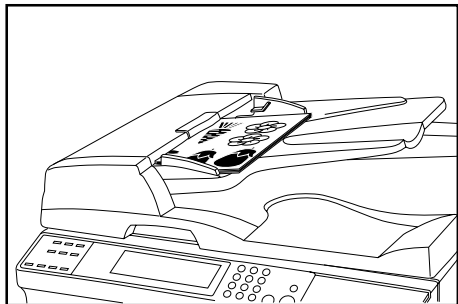
- 11 倍率アップキーまたは倍率ダウンキーを押して“F00”にして、確定キーを押してください。項目表示は枚数表示に変わります。



7章 オプション

(1) ADF (原稿送り装置)

多枚数のシート原稿を自動的に1枚ずつ送り、読み込みを行う装置です。



① DF にセットできる原稿

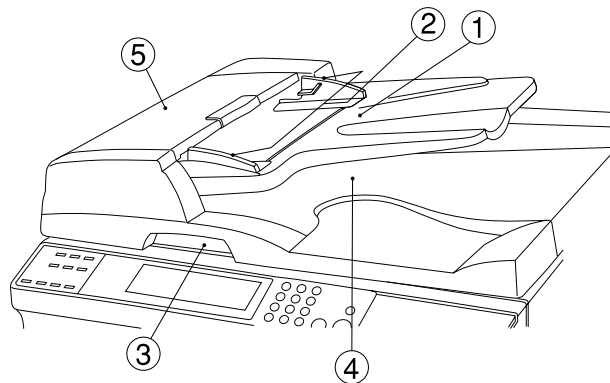
- ・ シート原稿であること。
- ・ 厚さ：片面原稿 35g/m² ~ 160g/m² の範囲内であること。
- ・ サイズ：最大 A3 ~ 最小 A5 (タテ)
- ・ セット枚数：70 枚 (A4 以下、64g/m²)
50 枚 (B4 以上、64g/m²)
50 枚 (オートセレクション選択時)

② DF の使用上の注意

次のような原稿は、DF に使用しないでください。また、パンチ穴やミシン目のある原稿を挿入先端側にセットしないでください。

- ・ OHP 用紙などの透明フィルム
- ・ カーボン紙やしわ・折れのひどい原稿、またはビニールなどの軟らかい原稿
- ・ 方形でない原稿、濡れた原稿、粘着テープ・糊などが付いた原稿
- ・ クリップやホッチキスで止めてある原稿 (やむをえず原稿とするときは、それらを取り外して、しわ・折れを直してからセットしてください。)
- ・ 切り抜き原稿、表面や裏面のスベリが非常によい原稿
- ・ 修正液が乾いていない状態の原稿
- ・ 折り目のついた原稿 (やむをえず原稿とするときは、折れを直してからセットしてください。)

③ DF の各部の名称



① 原稿テーブル

(原稿は、ここにセットしてください。)

② 原稿挿入ガイド

(原稿の幅に合わせてこのガイドを調節してください。)

③ DF 開閉取手

(DF を開閉するときは、この取手を持ってください。)

④ 原稿排出カバー

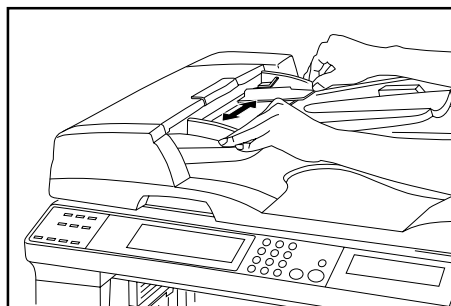
(コピーが終わった原稿はここに収納されます。)

⑤ DF 原稿反転カバー

(DF 部で原稿が詰まったときに開いてください。)

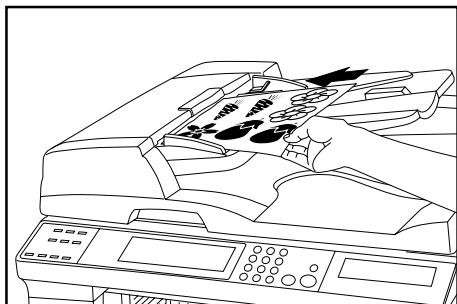
④ DF への原稿のセット

1 原稿挿入ガイドを原稿サイズに合わせてください。



※原稿をセットする前に、原稿排出カバーに排紙された原稿が残っていないか確認してください。原稿排出カバーに原稿が残っていると、原稿詰まりの原因になります。

- 2** 原稿はコピーする面を上向きにして、順序よく重ねて、原稿テーブルにセットしてください。
原稿の先端を確実に DF 内の奥まで差し込んでください。



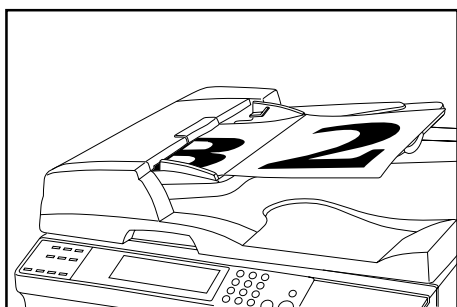
重要

奥の原稿挿入ガイドに貼ってある目盛り以下になるよう原稿をセットしてください。規定枚数以上の原稿をセットすると、原稿が詰まる原因になります。

⑤オートセクションモード

原稿のサイズを1枚ずつ検知して、それぞれの原稿と同じサイズ用の紙にコピーします。

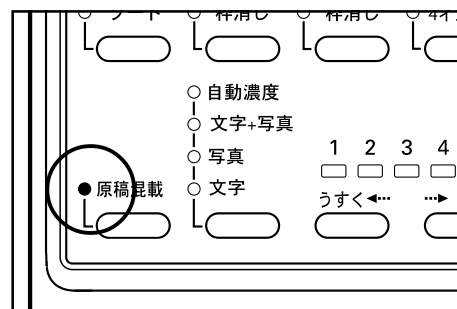
※このモードを使用するには、オプションのメモリーボードが必要です。



補足

- ・このモードでDFにセットできる枚数は、最大50枚 (64g/m²) です。
- ・このモードでセットできる原稿はA3、A4、B4 および B5 で、原稿幅が同じサイズのものに限られます。

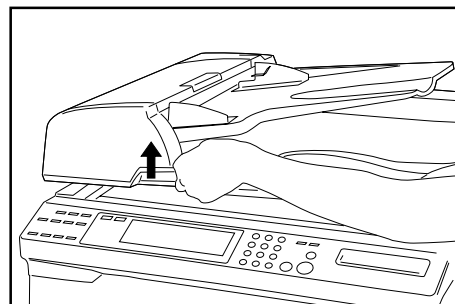
- 1** オートセクションキーを押してください。オートセクション表示を点灯させてください。



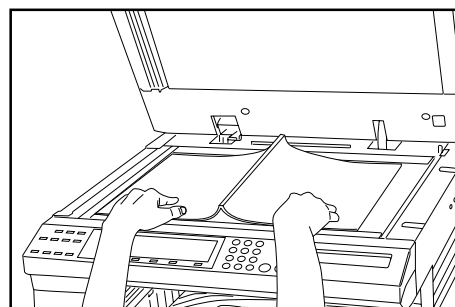
⑥コンタクトガラスへの原稿のセット

本や雑誌など、DFにセットできない原稿の場合は、DF本体を開けてコンタクトガラスの上に原稿をセットしてください。

- 1** DF 開閉取手を持ってDFを開けてください。
※DFを開ける前には、原稿テーブルや原稿排出カバに原稿がないことを確認してください。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。

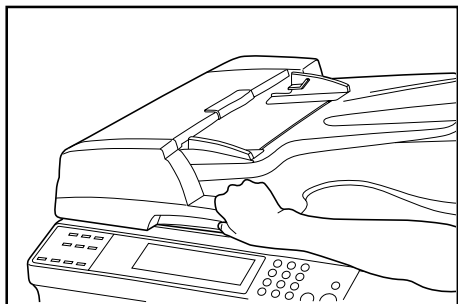


- 2** コピーする面を下にして、原稿をセットしてください。このとき原稿サイズ指示に確実に合わせてセットしてください。



7章 オプション

3 DF 開閉取手を持って DF を閉じてください。



重要

このとき DF をコンタクトガラスに強く押さえつけないでください。ガラスが割れることがあります。

! 注意

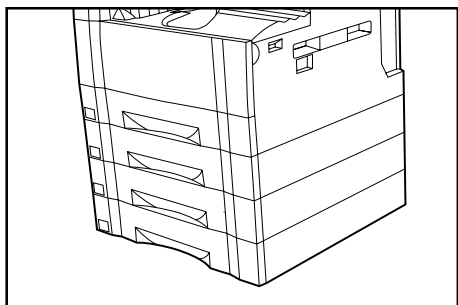
原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となることがあります。

(2) カセット

本体のカセットと同じものが 1 段ずつ最高 3 段まで増やすことができます。

セットできる用紙枚数および用紙のセットのしかたは本体標準のカセットと同じです。

※紙詰りが発生したときに用紙を取り除くためにそれぞれのオプションカセットに左カバーがあります。

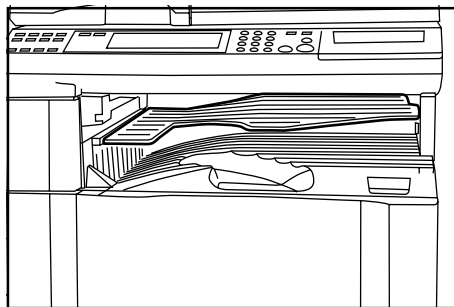


(3) ジョブセパレータ

割り込みコピーをしているときや、オプションのプリンタ機能を併用しているときに、用紙の排出先を区分して、仕分けをしやすくする装置です。

コピーの排出先は P 6-7 の F 23 の設定により選択できます。

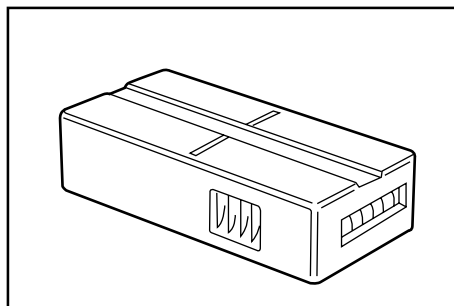
※ジョブセパレータの収納枚数は 100 枚です。100 枚以上のコピーをしているときは、100 枚コピー終了時にコピーを停止します。仕上がったコピーを取り出してください。自動的にコピーを再開します。



(4) キーカウンタ

キーカウンターは、コピーの使用量を確認するためのものです。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

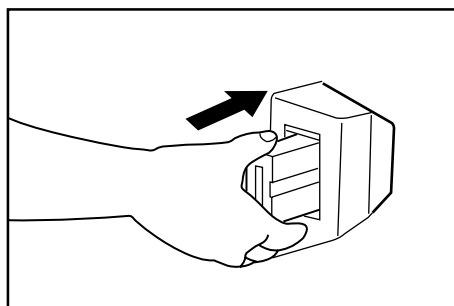
※キーカウンタは、プリンタ出力でもカウントを行う場合があります。



●キーカウンターのセット方法

キーカウンター差し込み口に、キーカウンターを確実にセットしてください。

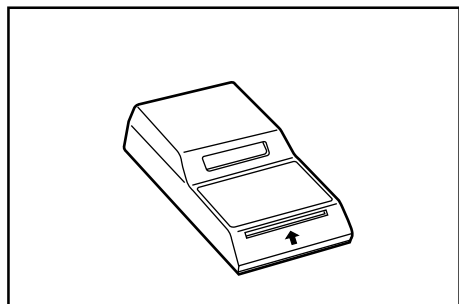
※キーカウンターを使用する場合は、キーカウンターを機械にセットしない限り、コピーがとれませんのでご注意ください。キーカウンターが確実に挿入されていないときは、コピー枚数表示に“U1”が表示されます。



(5) キーカード

キーカードは専用のカードを使ってコピーの使用量を確認することができます。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

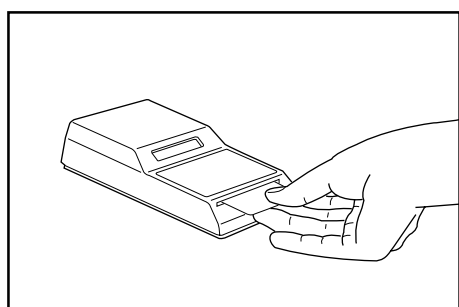
※キーカードは、プリンタ出力でもカウントを行う場合があります。

**●キーカードのセット方法**

専用の部門カードを本体のカード挿入口にしっかり奥まで挿入してください。

※キーカードを使用するときは部門カードを本体に挿入しない限りコピーがとれませんのでご注意ください。

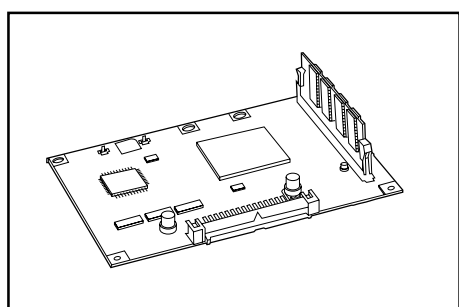
部門カードが確実に挿入されていない場合、コピー枚数表示に“U1”が表示されます。

**(6) メモリボード**

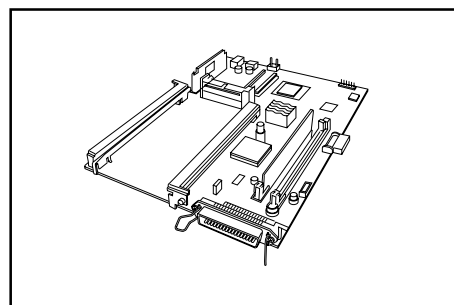
本機のコピー機能（ソートコピー、マージンコピー、枠消し等）を使用するときや、ADF（オプション）を使用して複数部のコピーを行うときは、このメモリボードが必要になります。また、白黒比率6%の原稿で約200枚まで原稿を読み取ることができます。

※メモリボードには64MBと32MBの2種類があります。

原稿読み取り枚数は64MBで白黒比率6%約200枚となります。

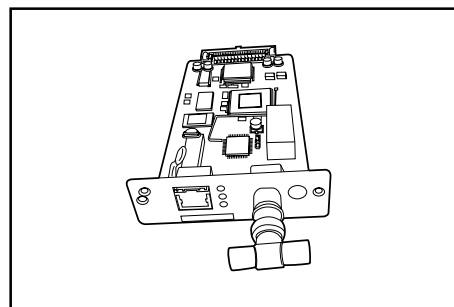
**(7) プリンタキット**

プリンタキットを装着すると、本機をプリンタとして使用することができます。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。

**(8) プリンタネットワークキット**

オプションのプリンタキット装着時にネットワークキットを装着すると、本機を複数のコンピューターからアクセスできるネットワークプリンタとして使用できます。

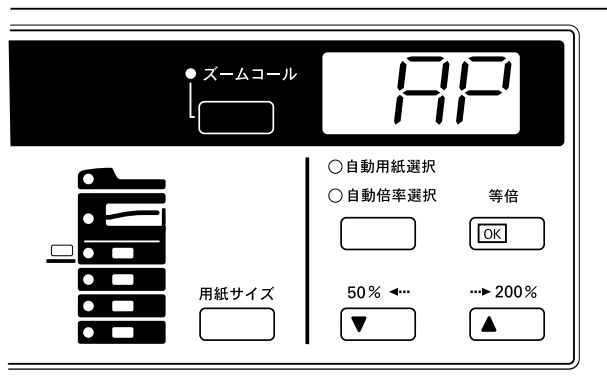
詳しくはネットワークキットの使用説明書を参照してください。



8 章 こんなときには

1. こんな表示がでたら

操作パネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

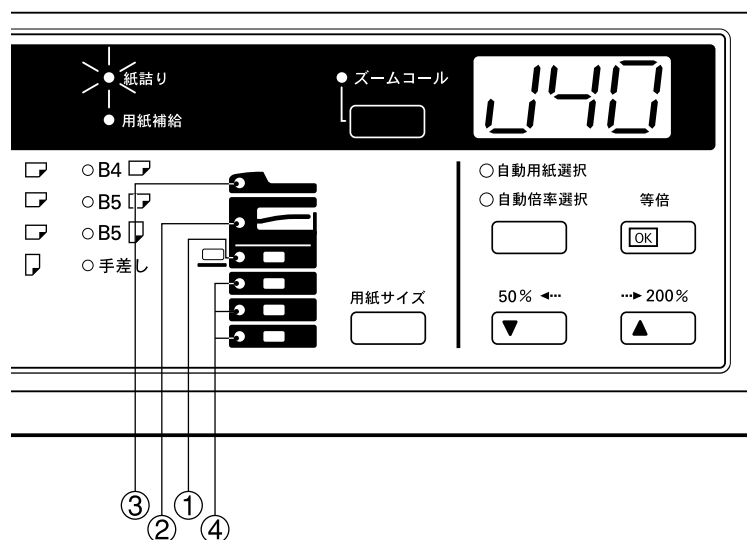


表示	処理方法	参照ページ
枚数表示に“C”と数字が交互に表示	メインスイッチを一度 OFF/ON し、再び同じ表示が出るときはサービス担当者に連絡してください。	—
枚数表示に“A”と“000”、“C”と“005”または“006”が交互に表示	ノイズなどによる誤動作が起こった場合や、プリンタなどの機能を使用時に通信異常が発生した場合に表示されます。 以下の手順に従って処理してください。 メインスイッチを OFF にしてください。 ※プリンタ出力を行っている場合は、PC 側で印刷のキャンセルを行ってください。 5 秒以上待ってから再び ON にしてください。エラーが解除されます。 ※プリンタの出力を行っていた場合は、再度出力を行ってください。	—
枚数表示に“OF”が表示	・ コピー収納部に用紙が 250 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。 ・ オプションのジョブセパレータが装着されているときに、コピー収納部に用紙が 150 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。 ・ オプションのジョブセパレータ上に用紙が 100 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。	4-2 7-3 7-3
トナー補給表示が点灯	点灯時点ですばらくはコピーできますが、やがてコピーできなくなります。お早めにトナーカートリッジを交換してください。	3-5
枚数表示に“AP”が表示	機内でトナー補給中です。しばらくお待ちください。	—
トナー回収表示が点灯	トナー回収タンクの交換時期です。トナーカートリッジに付属のトナー回収タンクを交換してください。	3-5
トナー回収表示が点滅	トナー回収タンクがセットされていません。所定の場所にセットしてください。セットされないとコピーはできません。	3-5

表示	処理方法	参照ページ
枚数表示に“U1”が表示	キーカウンタまたはキーカードを確実にセットしてください。	7-3 7-4
枚数表示に“PF”が表示	手差しで紙詰まりが発生している場合は用紙を取り除いてください。 用紙が無い場合は、用紙をセットしてください。	3-2 8-4
枚数表示に“XX”が表示され用紙補給表示が点滅 (XXは出力部数アカウント)	点滅しているカセット段表示のカセットに用紙がありません。用紙を補給してください。	3-1
枚数表示に“JXX”と表示され紙詰り表示が点滅 (XXは数字で紙詰まり位置示す)	紙詰まりが発生しています。用紙を取り除いてください。	8-3
枚数表示に“J95”、“J96”または“J98”が表示	機内で紙詰まりを起こしている場合があります。 紙が詰まっていないか確認し、紙が詰まっていた場合は、取り除いてください。	8-3
枚数表示に“J00”が表示	紙詰まりの用紙が機内に残っています。 用紙を取り除いてください。	8-3
定期点検表示が点滅または点灯	点滅で定期点検が近いことをお知らせします。点灯に換わると定期点検の時期です。直ちにサービス担当者にご連絡ください。	—
枚数表示に“E10”が表示	選択されたカセットは使用できません。直ちにサービス担当者にご連絡ください。オプションカセットを設置しているときは別のカセットを使用してください。	—
枚数表示に“E70”が表示	DF（オプション）を使用している時に、原稿が原稿挿入部に残っています。原稿を取り出して、原稿テーブルに戻してコピーを再開してください。	—
枚数表示に“E71”が表示	コピーできなかった原稿のコピーをもう一度行います。全ての原稿を原稿テーブルに戻してコピーを再開してください。	—
枚数表示に“E72”が表示	コンタクトガラスに原稿を置いて、2 in 1、4 in 1 またはソートコピーを行っている時に、DF（オプション）に原稿がセットされました。DFの原稿を取り除いて、2 in 1、4 in 1 またはソートコピー終了後、原稿を原稿テーブルに戻してコピーを再開してください。	—
枚数表示に“E90”が表示	メモリの容量がいっぱいになりました。等倍／OK キーを押すと、読み込みが終了しているページまでを出力します。リセットキーかストップ／クリアキーを押すと、読み込まれたデータが消去されますので、原稿枚数を少なくしてもう一度コピー操作を行ってください。	—
枚数表示に“OP”が表示	前力バーが開いています。前力バーを閉じてください。	—
枚数表示に“OP1”が表示	DF（オプション）のDF 原稿力バーが開いています。DF 原稿力バーを閉じてください。	—
枚数表示に“OP2”が表示	左力バーが開いています。左力バーを閉じてください。	—
枚数表示に“OP3”～“OP5”が表示	オプションカセットの左力バーが開いています。各左力バーを閉じてください。	—

2. 紙詰りが発生したら

紙詰りが発生した場合は、コピー作業を停止します。この時、操作パネルには紙詰まりを知らせる紙詰り表示の点灯とともに、紙詰り位置表示が点灯します。また、枚数表示には“J”と2桁の数字または“PF”を表示し、紙詰まり位置をお知らせします。メインスイッチはON（|）のまま、“(3) 紙詰り処理のしかた”を参照して用紙を取り除いてください。



(1) 紙詰り位置表示

- ①給紙部での紙詰り
- ②左カバー内部での紙詰り（P 8-4 参照）
- ③DF〈オプション〉での紙詰り（P 8-5 参照）
- ④カセット〈オプション〉での紙詰り（P 8-5 参照）

(2) 注意事項



警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- ※詰まった用紙は再使用しないでください。
- ※用紙を取り除くときに用紙が破れた場合、紙片を機内に残さないように注意してください。紙詰まりが再発する原因になります。
- ※紙詰まり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。紙詰り表示が消灯し、紙詰まり前の状態にセットなおされます。

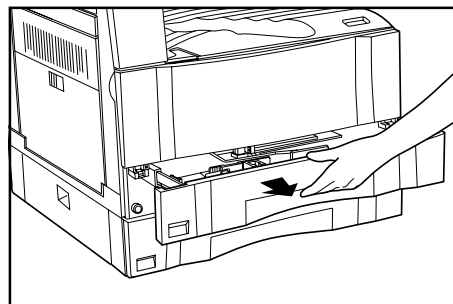
(3) 処理方法

①給紙部での紙詰り

●カセットを使用中（J10、J20）

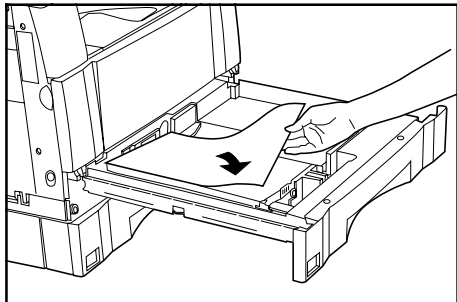
カセットを使用中に、紙詰まり位置表示が図の位置で点灯したときは、カセットで紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

- 1 カセットを引き出してください。



2 詰まっている用紙があれば破らないように取り出してください。

※もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



3 カセットを元通りゆっくり押し込んでください。

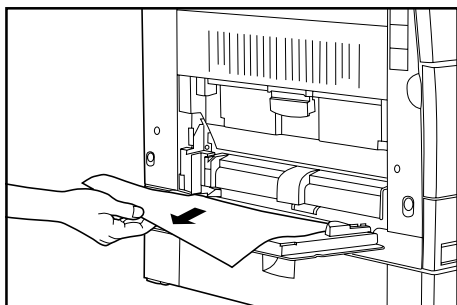
※カセットの爪からペーパーが外れていないか確認してください。外れていたら再度チェックしてください。

※ J20 が表示された場合は、P8-4 ②左カバー内部での紙詰まりを参照して用紙を取り除いてください。

●手差しでの紙詰まり (PF)

手差しを使用中に、紙詰まり位置表示が図の位置で点灯したときは、手差しで紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

1 手差しの用紙をすべて取り出してください。

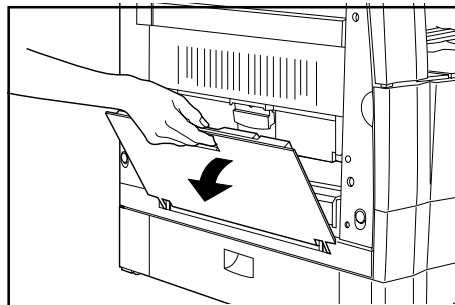


2 紙詰まり位置表示の点灯がなくなったことを確認してから、手差しに用紙をセットしなおしてください。

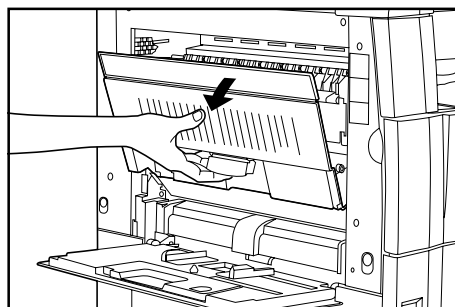
②左カバー内部での紙詰り (J30、J40、J50、J51)

紙詰まり位置表示が図の位置で点灯したときは、左カバー内部で紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

1 手差しを開いてください。



2 左カバーを開いてください。



警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



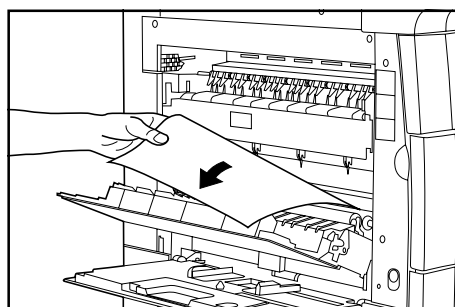
注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

3 詰まっている用紙を破らないように取り出してください。

用紙が取り出しにくいときは次の手順に進んでください。取り出せたら手順5に進んでください。

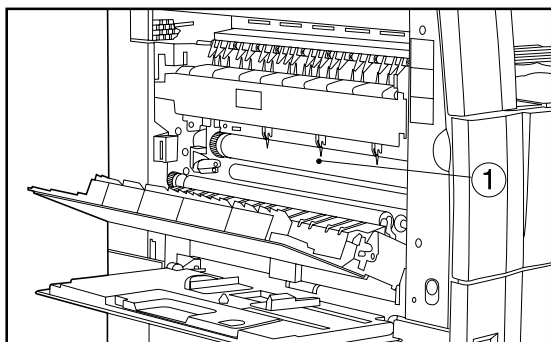
※もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



8章 こんなときには

重要

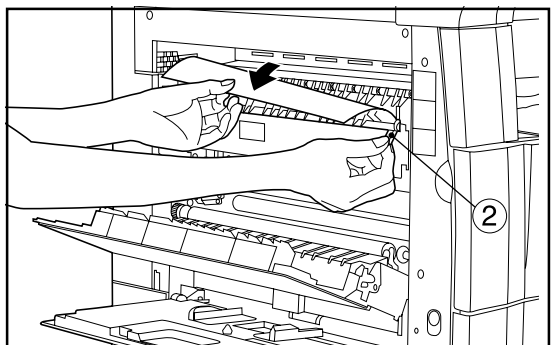
ドラム部分（イラストの①）は、光に対して高感度で汚れにも敏感です。照明などの強い光を直接当てないよう、またドラム部分に手を触れないようご注意ください。



- 4** 緑色の取手（イラストの②）を持って排紙ガイド開いて用紙を取ってください。

! 注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



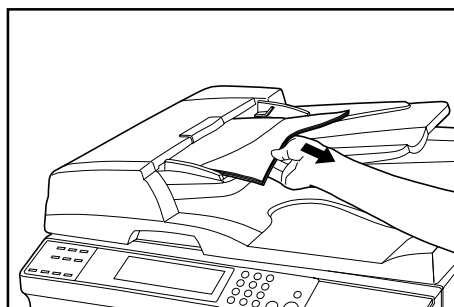
- 5** 左カバーと手差しを閉めてください。

③DF〈オプション〉での紙詰り（J70、J71、J72、J73）

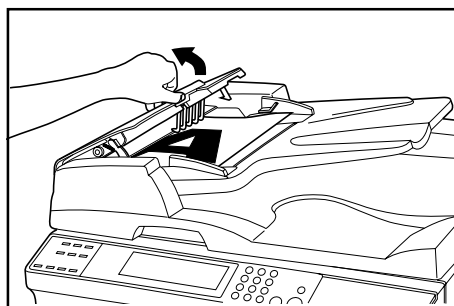
紙詰まり位置表示が図の位置で点灯したときは、DFで原稿が詰まっています。

以下の手順で取り除いてください。

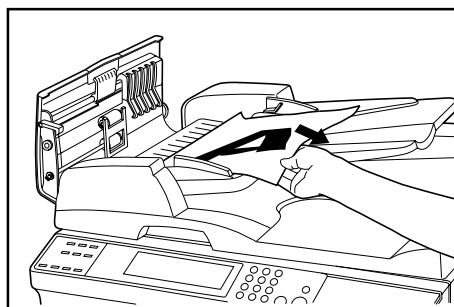
- 1** 原稿テーブルの原稿をいったん取り出してください。



- 2** DF原稿カバーを開いてください。



- 3** 詰まっている原稿を取り出してください。



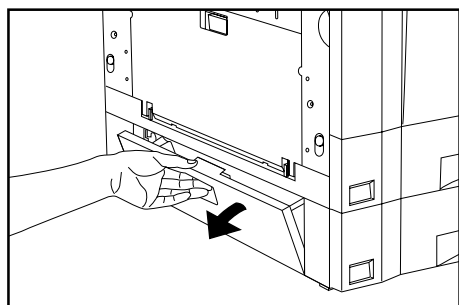
- 4** DF原稿カバーを閉じてください。
詰まっていた原稿を原稿テーブルの原稿と一緒にしてコピーを再開してください。

④カセット〈オプション〉での紙詰まり (J11、J12、J13、J15、J16、J20、J21、J22)

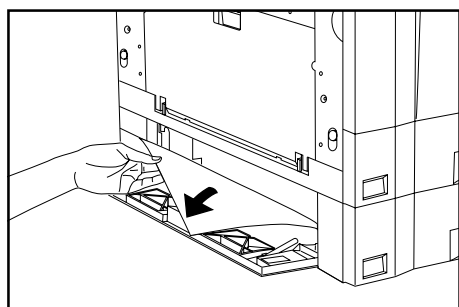
紙詰まり位置表示が図の位置で点灯したときは、オプションカセットで紙詰まりが発生しています。

以下の手順で取り除いてください。

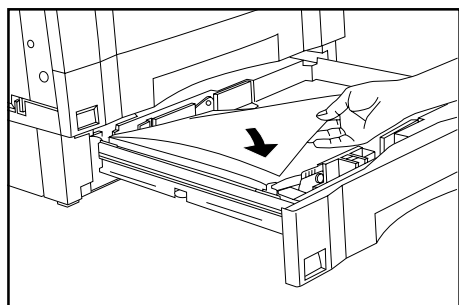
- 1** 使用しているカセットの左カバーを開いてください。



- 2** 詰まっている用紙があれば破らないように取り出して、カセットの左カバーを閉じてください。
※もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



- 3** カセット引き出して、詰まっている用紙があれば破らないように取り出してください。
※もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



- 4** カセットを元通りゆっくり押し込んでください。

3. トラブルが発生した場合

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べいただき、それでもなおらない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチをONにしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	——
スタートキーを押してもコピーが出てこない。	操作パネルに表示が出ていませんか。	各表示に対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	8-1
コピーが写らない。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスの上に原稿をセットするときは、原稿を下向きにセットしてください。	4-1
		DF(オプション)にセットするときは原稿を上向きにセットしてください。	7-1
コピーが薄い。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、“自動濃度調整”を行ってください。	6-4
	“写真原稿”、“文字+写真原稿”、“文字原稿”モードですか。	コピー濃度調整キーで適正な位置にセットしてください。	4-2
		全体的に濃度を変更するときは、それぞれの濃度調整を行ってください。	6-4、6-5
	トナー補給表示が点灯していませんか。	トナーカートリッジを交換してください。	3-5
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	3-1

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーが濃い。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、“自動濃度の設定”を行ってください。	6-4
	“写真原稿”、“文字+写真原稿”、“文字原稿”モードですか。	コピー濃度調整キーで適正な位置にセットしてください。	4-2
		全体的に濃度を変更するときは、それぞれの濃度調整を行ってください。	6-4、6-5
コピーが汚れている。	コンタクトガラスや原稿押さえが汚れていませんか。	コンタクトガラスや原稿押さえの清掃を行ってください。	9-1
		前カバーを開いて、クリーニング棒をぬきさししてください。	3-6
コピーがずれて写る。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	4-1
		DF（オプション）にセットするときは原稿挿入ガイドを原稿サイズ確実に合わせてください。	7-1
紙詰まりがたびたび起こる	用紙がカセットに正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-1
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	3-1
	詰まった用紙や紙片が機械内部に残っていませんか。	適切な方法で取り除いてください。	8-3
仕上がったコピーがコピー収納部できれいに収納されない。	仕上がったコピーがカールしていませんか。	使用されているカセットまたは手差しの用紙を一度取り出し、裏返してからセットしなおしてください。	4-2

9章 保守・運用のために

1. 機械の清掃のしかた

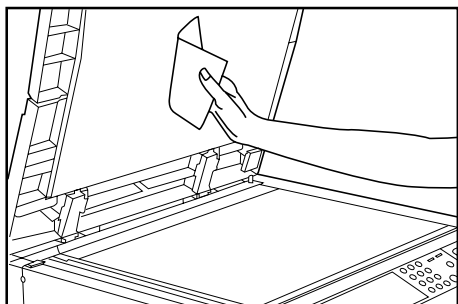
⚠ 注意

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●原稿押さえの清掃

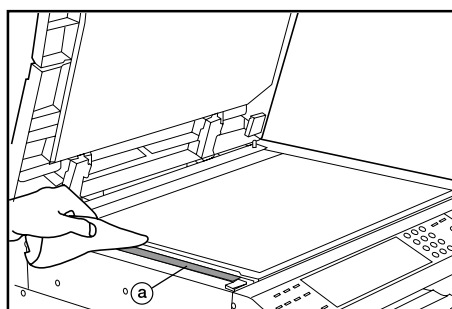
原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿押さえ裏面の清掃を行ってください。

※シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。



※オプションのDF使用時にコピーに黒すじなどの汚れが写る場合、スリットガラス（イラストの①）が汚れています。

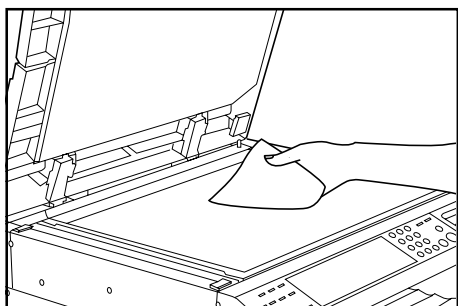
アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、スリットガラスの清掃を行ってください。



●コンタクトガラスの清掃

原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、コンタクトガラスの清掃を行ってください。

※シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。



2. 消耗品

※機械の性能を維持しトラブルを未然に防止するために、消耗品は必ず弊社のものをご使用ください。

用紙

〈普通紙〉

(DC 用紙)

A3 判	500 枚 X 3 冊	6,900 円
A4 判	500 枚 X 5 冊	5,750 円
A5 判	500 枚 X 6 冊	4,320 円
B4 判	500 枚 X 5 冊	8,650 円
B5 判	500 枚 X 5 冊	4,350 円

〈カラーペーパー〉

(DC 用カラーペーパー)

(ピンク・クリーム・グリーン・ライトブルー・アイボリー)

A4 判	500 枚 X 5 冊	8,000 円
B4 判	500 枚 X 5 冊	11,000 円
B5 判	500 枚 X 5 冊	5,750 円

〈第2原図〉

(GNT-75)

A3 判	250 枚 X 1 冊	5,000 円
A4 判	500 枚 X 1 冊	5,000 円
B4 判	500 枚 X 1 冊	7,500 円
B5 判	500 枚 X 1 冊	3,750 円

〈封筒〉 ※プリンタ機能時のみ使用できます

サイズ：洋形4号、洋形2号

※推奨品

- ・洋形4号 「LIFE E506B (枠なし)」
- ・洋形2号 ハグルマ封筒株式会社「スイス洋2 枠なし WE-S2」

※上記表示価格は、2000年9月現在のものです。また表示価格及び料金には消費税は含まれておりません。

ご購入の際は、消費税が別途付加されますのでご了承願います。

3. 製品の保守サービスについて

このたびは、弊社複写機をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式には次のものがございます。

●コピーキット方式

弊社指定のコピーキットをご購入いただきますと「コピーシステム契約書」にもとづき、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行います。

- ・コピーキット（PK-510A キット）5000 カウント用
（PK-510B キット）2500 カウント用

●スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつど料金を申し受ける方式です。

4. 保守サービス契約書について

保守サービスとしてコピーキット契約を結ばれたお客様は「コピーシステム契約書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社営業所が必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーシステム契約書」には、お買い上げになった複写機の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーシステム契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社営業所へご連絡ください。ただちに発行手続きをいたします。

※アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店もしくは、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

5. 補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7 年間です。

6. 廃棄について

1. 使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

2. トナーコンテナおよびトナー回収タンクの廃棄

使用後、不要になりましたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却下さい。回収されたトナーコンテナおよびトナー回収タンクは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

7.仕様

名称	KM-1530
形式	デスクトップ型
原稿台方式	原稿台固定方式
複写方式	間接静電方式
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）
複写サイズ	A3、B4、A4、B5、A5（タテ）、B6（タテ）、A6（タテ）、ハガキ 欠け幅：0.5～5.5 mm
複写速度	等倍／ダイレクトコピー A3：8枚／分、B4：8枚／分、A4：15枚／分、 A4（タテ）：10枚／分
ウォームアップタイム	30秒以内（室温20℃、湿度65%）、プレヒート時：15秒以内〔復帰優先〕、 30秒以内〔節電優先〕（室温20℃、湿度65%）
ファーストコピータイム	5.5秒以内（A4ヨコ、第1給紙）
複写倍率	50～200%（1%毎）の任意倍率
画像蓄積メモリ（オプション）	47MB（A4、黒比率6%原稿で約250枚記憶可能）
解像度	読み取り：600 x 600 dpi 書き込み：600 x 600 dpi
給紙方式	カセット自動給紙（1段、収納枚数各段250枚 [64g/m ²]）および手差し自動給紙 （収納枚数 A3、B4：25枚、A4以下：50枚 [64g/m ²]）
使用ペーパー	カセット：普通紙（64～80 g/m ² ） 手差し：普通紙（60～160g/m ² ）、特殊紙（第2原図、カラーペーパー、更紙、 官製はがき、のし紙、OHPフィルム等）、 封筒〔プリンタ機能時のみ〕（洋形4号、洋形2号）
連続複写	1～250枚
光源	希ガスランプ
現像方式	乾式現像
定着方式	ヒートローラー
クリーニング方式	ブレードクリーニング方式
感光体種類	OPC
付属機能	自己診断機能、プレヒート、自動濃度調整、原稿サイズ検知機能、自動用紙選択機能、 自動倍率選択機能、ズーム機能、定型変倍機能、写真モード、部門管理
電源	AC100 V 50/60 Hz 最大11 A
消費電力	定格消費電力 最大1100 W
機械寸法	幅550mm x 奥行560mm x 高さ498mm
質量	約41 kg
機械占有寸法	幅891mm x 奥行560mm
オプション	ADF（原稿送り装置）、カセット、ジョブセパレータ、キーカウンター、 キーカード、メモリボード、プリンタキット、プリンタネットワークキット

（仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。）

索引

ローマ字・数字

ADF（原稿送り装置）.....	7-1
DFにセットできる原稿.....	7-1
DFの各部の名称.....	7-1
DFの使用上の注意.....	7-1
DFへの原稿のセット.....	7-1
OHPモード設定.....	6-6
2 in 1.....	5-4
4 in 1.....	5-4

オ

オートカセットチェンジ.....	6-5
オートカセットチェンジ機能.....	2-4
オートクリア機能.....	2-4
オートシャットオフ.....	6-7
オートシャットオフ機能.....	4-6
オートシャットオフタイム.....	6-7
オートセレクションモード.....	7-2
オート予熱タイム.....	6-7
オプション.....	7-1

カ

回転コピー.....	5-6
回転ソート設定.....	6-6
各部の名称.....	2-1
カセット.....	3-1
カセット（オプション）.....	7-2
紙詰り位置表示.....	8-3
紙詰りが発生したら.....	8-3

キ

キーカウンタ.....	7-3
機械の清掃.....	9-1
機械本体.....	2-1
機械を設置するときのご注意.....	1-2
機能的なコピー.....	5-1
基本的なコピー.....	4-1

コ

コピー禁止事項.....	1-4
コピー出力先設定.....	6-7
コピー濃度の調整.....	4-2
コピーの縮小／拡大.....	4-3
コピー部数制限.....	6-6
こんな表示がでたら.....	8-1

シ

シート枠消し.....	5-2
自動濃度調整.....	6-4
自動倍率選択モード.....	4-3
自動倍率モード.....	6-5
写真原稿濃度調整.....	6-5
集約（境界線）設定.....	6-6
集約コピー.....	5-4
集約（4 in 1）設定.....	6-6
出力モード設定.....	6-6
仕様.....	9-4
消耗品.....	9-2
初期設定.....	6-4
初期設定の項目.....	6-4
OHPモード設定.....	6-6
オートカセットチェンジ.....	6-5
オートシャットオフ.....	6-7
オートシャットオフタイム.....	6-7
オート予熱タイム.....	6-7
回転ソート設定.....	6-6
コピー出力先設定.....	6-7
コピー部数制限.....	6-6
自動濃度調整.....	6-4
自動倍率モード.....	6-5
写真原稿濃度調整.....	6-5
集約（4 in 1）設定.....	6-6
集約（境界線）設定.....	6-6
出力モード設定.....	6-6
静音モード.....	6-7
手差しサイズ設定.....	6-5
手差し不定形サイズ幅設定.....	6-6
トナーカウンターレポート.....	6-7
濃度ステップ.....	6-5
濃度モード.....	6-4
マージン幅設定.....	6-6
文字＋写真原稿濃度調整.....	6-4
文字原稿濃度調整.....	6-5
優先カセット.....	6-5
ユーザステータスレポート.....	6-4
用紙選択.....	6-5
枠消し幅設定.....	6-6
初期設定の設定方法.....	6-8
初期モード.....	2-4
ジョブセパレータ.....	7-3

ス

ズームコピー.....	4-3
-------------	-----

セ

静音モード.....	6-7
------------	-----

ソ		ホ	
ソートコピー	5-6	補修用性能部品	9-3
操作パネル	2-3	保守・運用	9-1
チ		保守サービス契約書	9-3
注意ラベル	1-1	マ	
テ		マージンコピー	5-1
定形変倍コピー	4-4	マージン幅設定	6-6
手差しサイズ設定	6-5	メ	
手差しのサイズ設定	3-3	メモリボード	7-4
手差し不定形サイズ幅設定	6-6	モ	
手差し	3-2	文字原稿濃度調整	6-5
ト		文字＋写真原稿濃度調整	6-4
トナーカートリッジの交換	3-5	ユ	
トナー回収タンクの交換	3-5	ユーザーステータスレポート	6-4
トナーカウンターレポート	6-7	優先カセット	6-5
トラブルが発生した場合	8-7	ヨ	
取り扱い上のご注意	1-3	用紙選択	6-5
ノ		用紙の補給	3-1
濃度ステップ	6-5	予熱（プレヒート）機能	4-6
濃度モード	6-4	ワ	
フ		枠消し	5-2
封筒のセットのしかた	3-4	枠消し幅設定	6-6
複写機の管理モード	6-1	割り込みコピー	4-5
ブック枠消し	5-2		
部門管理	6-1		
部門管理 ON／OFF 設定	6-1		
部門管理カウントクリア	6-1		
部門管理番号削除	6-1		
部門管理番号登録	6-1		
部門管理リスト出力	6-1		
部門管理 ON／OFF 設定	6-1		
部門管理カウントクリア	6-1		
部門管理時のコピー	6-3		
部門管理の設定方法	6-2		
部門管理のモード	6-1		
部門管理番号削除	6-1		
部門管理番号登録	6-1		
部門管理リスト出力	6-1		
プリンタキット	7-4		
プリンタネットワークキット	7-4		
プレヒート	4-6		

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。



お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112

お客様
相談窓口



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-046562

受付時間

● 9:00~12:00 ● 13:00~17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。<http://www.kyoceramita.co.jp/support/>

2002.6